

■新旧对照表

新	旧
<p data-bbox="219 210 309 242">(表紙)</p> <p data-bbox="360 480 913 523"><u>白河市歴史の風致維持向上計画</u></p>  <p data-bbox="548 1198 721 1278">平成27年3月 白河市</p>	<p data-bbox="1146 210 1236 242">(表紙)</p> <p data-bbox="1288 488 1841 531"><u>白河市歴史の風致維持向上計画</u></p>  <p data-bbox="1478 1214 1650 1294">平成26年3月 白河市</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(目次)</p> <p>第6章 歴史的風致の維持及び向上に必要な事業に関する事項</p> <p>(1) 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する基本的な考え方…………… - 170 -</p> <p>(2) 歴史的風致の維持向上に資する事業…………… - 173 -</p> <p>第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針</p> <p>(1) 歴史的風致形成建造物の指定における基本的な考え方…………… - 194 -</p> <p>(2) 歴史的風致形成建造物の指定の方針…………… - 195 -</p> <p>(3) 歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補…………… - 196 -</p> <p>(4) 歴史的風致形成建造物の管理指針の基本事項…………… - 208 -</p> <p>資料</p> <p>白河市の指定文化財一覧…………… - 210 -</p> <p>参考文献…………… - 214 -</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>平成23年2月 白河市歴史的風致維持向上計画認定</p> <p>平成24年3月 第1回変更</p> <p>平成25年3月 第2回変更</p> <p>平成26年3月 第3回変更(軽微な変更)</p> <p>平成27年3月 第4回変更</p> </div>	<p>(目次)</p> <p>第6章 歴史的風致の維持及び向上に必要な事業に関する事項</p> <p>(1) 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する基本的な考え方…………… - 166 -</p> <p>(2) 歴史的風致の維持向上に資する事業…………… - 168 -</p> <p>第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針</p> <p>(1) 歴史的風致形成建造物の指定における基本的な考え方…………… - 189 -</p> <p>(2) 歴史的風致形成建造物の指定の方針…………… - 190 -</p> <p>(3) 歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補…………… - 191 -</p> <p>(4) 歴史的風致形成建造物の管理指針の基本事項…………… - 202 -</p> <p>資料</p> <p>白河市の指定文化財一覧…………… - 204 -</p> <p>参考文献…………… - 208 -</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>平成23年2月 白河市歴史的風致維持向上計画認定</p> <p>平成24年3月 第1回変更</p> <p>平成25年3月 第2回変更</p> <p>平成26年3月 第3回変更(軽微な変更)</p> </div>

■新旧対照表

新	旧																																																																																																						
(P3)	(P3)																																																																																																						
<p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -1(め)-</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画協議会委員名簿 (平成27年2月25日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>有賀 隆</td> <td>早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>藤田 定典</td> <td>白河市文化財保護審議会会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>真船 勝行</td> <td>鹿嶋神社権禰宜</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>市川 憲</td> <td>白河市中央商店街振興組合理事長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大谷 浩男</td> <td>白河商工会議所青年部顧問・監事</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>藤田 龍文</td> <td>株式会社楽市白河副社長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>斎藤 正明</td> <td>NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>秋川 徳子</td> <td>NPO法人カルチャーネットワーク事務局長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>須藤 政子</td> <td>大信地域協議会委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>渡邊 紀子</td> <td>白河歯科クリニック</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>木村 勝美</td> <td>福島県土木部まちづくり推進課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>津田 正美</td> <td>福島県教育庁文化財課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>浅野 俊和</td> <td>福島県南建設事務所長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>鈴木進一郎</td> <td>白河市副市長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>鈴木 伸夫</td> <td>白河市建設部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>緑川 一男</td> <td>白河市教育部長</td> </tr> </tbody> </table>	役職	氏名	所属	会長	有賀 隆	早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授	副会長	藤田 定典	白河市文化財保護審議会会長	委員	真船 勝行	鹿嶋神社権禰宜	委員	市川 憲	白河市中央商店街振興組合理事長	委員	大谷 浩男	白河商工会議所青年部顧問・監事	委員	藤田 龍文	株式会社楽市白河副社長	委員	斎藤 正明	NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長	委員	秋川 徳子	NPO法人カルチャーネットワーク事務局長	委員	須藤 政子	大信地域協議会委員	委員	渡邊 紀子	白河歯科クリニック	委員	木村 勝美	福島県土木部まちづくり推進課長	委員	津田 正美	福島県教育庁文化財課長	委員	浅野 俊和	福島県南建設事務所長	委員	鈴木進一郎	白河市副市長	委員	鈴木 伸夫	白河市建設部長	委員	緑川 一男	白河市教育部長	<p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -1(め)-</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画協議会委員名簿 (平成25年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>有賀 隆</td> <td>早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>藤田 定典</td> <td>白河市文化財保護審議会会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>真船 勝行</td> <td>鹿嶋神社権禰宜</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>市川 憲</td> <td>白河市中央商店街振興組合理事長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大谷 浩男</td> <td>白河商工会議所青年部顧問・監事</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>藤田 龍文</td> <td>株式会社楽市白河副社長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>斎藤 正明</td> <td>NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>秋川 徳子</td> <td>NPO法人カルチャーネットワーク事務局長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>須藤 政子</td> <td>大信地域協議会委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>渡邊 紀子</td> <td>白河歯科クリニック</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>阿部 昌昭</td> <td>福島県土木部まちづくり推進課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>菅野 忠男</td> <td>福島県教育庁文化財課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>浅野 俊和</td> <td>福島県南建設事務所長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>鈴木進一郎</td> <td>白河市副市長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>関根 康孝</td> <td>白河市建設部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>北島 昭規</td> <td>白河市教育部長</td> </tr> </tbody> </table>	役職	氏名	所属	会長	有賀 隆	早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授	副会長	藤田 定典	白河市文化財保護審議会会長	委員	真船 勝行	鹿嶋神社権禰宜	委員	市川 憲	白河市中央商店街振興組合理事長	委員	大谷 浩男	白河商工会議所青年部顧問・監事	委員	藤田 龍文	株式会社楽市白河副社長	委員	斎藤 正明	NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長	委員	秋川 徳子	NPO法人カルチャーネットワーク事務局長	委員	須藤 政子	大信地域協議会委員	委員	渡邊 紀子	白河歯科クリニック	委員	阿部 昌昭	福島県土木部まちづくり推進課長	委員	菅野 忠男	福島県教育庁文化財課長	委員	浅野 俊和	福島県南建設事務所長	委員	鈴木進一郎	白河市副市長	委員	関根 康孝	白河市建設部長	委員	北島 昭規	白河市教育部長
役職	氏名	所属																																																																																																					
会長	有賀 隆	早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授																																																																																																					
副会長	藤田 定典	白河市文化財保護審議会会長																																																																																																					
委員	真船 勝行	鹿嶋神社権禰宜																																																																																																					
委員	市川 憲	白河市中央商店街振興組合理事長																																																																																																					
委員	大谷 浩男	白河商工会議所青年部顧問・監事																																																																																																					
委員	藤田 龍文	株式会社楽市白河副社長																																																																																																					
委員	斎藤 正明	NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長																																																																																																					
委員	秋川 徳子	NPO法人カルチャーネットワーク事務局長																																																																																																					
委員	須藤 政子	大信地域協議会委員																																																																																																					
委員	渡邊 紀子	白河歯科クリニック																																																																																																					
委員	木村 勝美	福島県土木部まちづくり推進課長																																																																																																					
委員	津田 正美	福島県教育庁文化財課長																																																																																																					
委員	浅野 俊和	福島県南建設事務所長																																																																																																					
委員	鈴木進一郎	白河市副市長																																																																																																					
委員	鈴木 伸夫	白河市建設部長																																																																																																					
委員	緑川 一男	白河市教育部長																																																																																																					
役職	氏名	所属																																																																																																					
会長	有賀 隆	早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻教授																																																																																																					
副会長	藤田 定典	白河市文化財保護審議会会長																																																																																																					
委員	真船 勝行	鹿嶋神社権禰宜																																																																																																					
委員	市川 憲	白河市中央商店街振興組合理事長																																																																																																					
委員	大谷 浩男	白河商工会議所青年部顧問・監事																																																																																																					
委員	藤田 龍文	株式会社楽市白河副社長																																																																																																					
委員	斎藤 正明	NPO法人しらかわ建築サポートセンター事務局長																																																																																																					
委員	秋川 徳子	NPO法人カルチャーネットワーク事務局長																																																																																																					
委員	須藤 政子	大信地域協議会委員																																																																																																					
委員	渡邊 紀子	白河歯科クリニック																																																																																																					
委員	阿部 昌昭	福島県土木部まちづくり推進課長																																																																																																					
委員	菅野 忠男	福島県教育庁文化財課長																																																																																																					
委員	浅野 俊和	福島県南建設事務所長																																																																																																					
委員	鈴木進一郎	白河市副市長																																																																																																					
委員	関根 康孝	白河市建設部長																																																																																																					
委員	北島 昭規	白河市教育部長																																																																																																					
- 3 -	- 3 -																																																																																																						

■新旧対照表

新	旧
<p>(P5)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -14(めに-</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>＜平成24年度＞</p> <p>4月 1日 白河市建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり推進課（中心市街地係、歴史まちづくり係）、都市計画課、文化財課を配置</p> <p>11月 12日 第1回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部会議及び調整会議</p> <p>11月 22日 第1回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>平成25年 1月 17日 第2回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部調整会議</p> <p>1月 21日 第2回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部会議</p> <p>1月 23日 第2回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>2月 1日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（案）に係るパブリックコメント実施 ～ 15日</p> <p>2月 9日 歴史まちづくりシンポジウム</p> <p>3月 8日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（第2回）認定申請</p> <p>3月 29日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（第2回）認定</p> <p>＜平成25年度＞</p> <p>平成26年 2月 26日 第1回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>3月 31日 白河市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更の届出</p> <p>＜平成26年度＞</p> <p>平成27年 2月 24日 第1回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部調整会議</p> <p>2月 24日 第1回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部会議</p> <p>2月 25日 第1回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>3月 4日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（第4回）認定申請</p> </div> <p style="text-align: center;">- 5 -</p>	<p>(P5)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -14(めに-</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>＜平成24年度＞</p> <p>4月 1日 白河市建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり推進課（中心市街地係、歴史まちづくり係）、都市計画課、文化財課を配置</p> <p>11月 12日 第1回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部会議及び調整会議</p> <p>11月 22日 第1回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>平成25年 1月 17日 第2回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部調整会議</p> <p>1月 21日 第2回白河市歴史と伝統を活かした庁内推進本部会議</p> <p>1月 23日 第2回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>2月 1日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（案）に係るパブリックコメント実施 ～ 15日</p> <p>2月 9日 歴史まちづくりシンポジウム</p> <p>3月 8日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（第2回）認定申請</p> <p>3月 29日 白河市歴史的風致維持向上計画の変更（第2回）認定</p> <p>＜平成25年度＞</p> <p>平成26年 2月 26日 第1回白河市歴史的風致維持向上計画協議会（法定協議会）</p> <p>3月 31日 白河市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更の届出</p> </div> <p style="text-align: center;">- 5 -</p>







■新旧対照表

新	旧
<p>(P40)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3巻-</p> <p>第2章 歴史的な建造物の分布状況及び文化財の種別と名称</p> <p>(1) 指定文化財の種別と名称、分布状況</p> <p>白河市には、貴重かつ地域の固有の歴史・文化的資源や自然的資源などを対象とした数多くの文化財、史跡・名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地などが全域的に分布している。平成27年3月31日現在、国の指定文化財が6件、重要美術品が4件あり、福島県の指定文化財が23件、市の指定文化財が106件で、合計139件となっている。</p> <p>① 国指定等文化財</p> <p>白河市には、国指定等文化財が10件所在している。その内訳は、史跡及び名勝1件、史跡4件、古文書1件、重要美術品4件である。</p> <p>史跡及び名勝南湖公園は、幕府老中を務めた白河藩主松平定信が老中退任後の享和元年(1801)に士民共楽の理念のもとに公園的利用を目的として整備した苑池である。この地は、もともと沼沢地を浚渫と築堤の土木工事、桜・紅葉・松などの植栽等をもって整備したもので、工事は貧民救済のための失業対策事業も兼ねていた。湖水は灌漑用水として周辺の新田開発を可能とし、藩内外の公園的機能、藩士の水練を行う学校的機能、水害等に備える調整池機能など複合的な機能も兼ね備えていた。</p> <p>史跡白河関跡は、白河市南端の旗宿の地に所在し、古代律令国家の東北地方への入り口に設けられた官的な機能を有する関であった。設置された年代は、承和2年(835)の『太政官符』に「旧記ヲ檢スルニ刻ヲ置キテ以来、今ニ四百余歳」の記載から5世紀中頃とする説があるが、発掘調査の成果や文献資料から推測すると、8～9世紀の奈良・平安時代頃に機能していたと考えられる。</p> <p>史跡白河舟田・本沼遺跡群は、下総塚古墳(前方後円墳)・舟田中道遺跡(豪族居館跡)・谷地久保古墳(横口式石櫛を伴う古墳)・野地久保古墳(上円下方墳)の4遺跡である。</p> <p>史跡白河官衙遺跡群は、借宿麩寺跡と泉崎村に位置する関和久官衙遺跡である。</p> <p>史跡小峰城跡は、南北朝時代の奥国・正平年間(1340～69)に、結城親朝により築城されたのが始まりとされる。豊臣秀吉による奥羽仕置以後、会津領となるが、白河藩主丹羽長重が幕命により、寛永6年(1629)より城郭の改修に着手し、約4年の歳月をかけ石垣を多用した梯郭式平山城を完成させた。丹羽氏以後、松平(綱原)・本多・松平(奥平)・松平(結城)・松平(久松)・阿部といった徳川譜代・親藩の7家21代の居城として存在したが、慶応4年(1868)の戊辰戦争白河口の戦いにより焼失落城した。</p>	<p>(P40)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第2巻-</p> <p>第2章 歴史的な建造物の分布状況及び文化財の種別と名称</p> <p>(1) 指定文化財の種別と名称、分布状況</p> <p>白河市には、貴重かつ地域の固有の歴史・文化的資源や自然的資源などを対象とした数多くの文化財、史跡・名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地などが全域的に分布している。平成26年3月31日現在、国の指定文化財が6件、重要美術品が4件あり、福島県の指定文化財が23件、市の指定文化財が102件で、合計135件となっている。</p> <p>① 国指定等文化財</p> <p>白河市には、国指定等文化財が10件所在している。その内訳は、史跡及び名勝1件、史跡4件、古文書1件、重要美術品4件である。</p> <p>史跡及び名勝南湖公園は、幕府老中を務めた白河藩主松平定信が老中退任後の享和元年(1801)に士民共楽の理念のもとに公園的利用を目的として整備した苑池である。この地は、もともと沼沢地を浚渫と築堤の土木工事、桜・紅葉・松などの植栽等をもって整備したもので、工事は貧民救済のための失業対策事業も兼ねていた。湖水は灌漑用水として周辺の新田開発を可能とし、藩内外の公園的機能、藩士の水練を行う学校的機能、水害等に備える調整池機能など複合的な機能も兼ね備えていた。</p> <p>史跡白河関跡は、白河市南端の旗宿の地に所在し、古代律令国家の東北地方への入り口に設けられた官的な機能を有する関であった。設置された年代は、承和2年(835)の『太政官符』に「旧記ヲ檢スルニ刻ヲ置キテ以来、今ニ四百余歳」の記載から5世紀中頃とする説があるが、発掘調査の成果や文献資料から推測すると、8～9世紀の奈良・平安時代頃に機能していたと考えられる。</p> <p>史跡白河舟田・本沼遺跡群は、下総塚古墳(前方後円墳)・舟田中道遺跡(豪族居館跡)・谷地久保古墳(横口式石櫛を伴う古墳)・野地久保古墳(上円下方墳)の4遺跡である。</p> <p>史跡白河官衙遺跡群は、借宿麩寺跡と泉崎村に位置する関和久官衙遺跡である。</p> <p>史跡小峰城跡は、南北朝時代の奥国・正平年間(1340～69)に、結城親朝により築城されたのが始まりとされる。豊臣秀吉による奥羽仕置以後、会津領となるが、白河藩主丹羽長重が幕命により、寛永6年(1629)より城郭の改修に着手し、約4年の歳月をかけ石垣を多用した梯郭式平山城を完成させた。丹羽氏以後、松平(綱原)・本多・松平(奥平)・松平(結城)・松平(久松)・阿部といった徳川譜代・親藩の7家21代の居城として存在したが、慶応4年(1868)の戊辰戦争白河口の戦いにより焼失落城した。</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P41)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3章-</p> <p>② 国指定等以外の文化財の分布</p> <p>国指定等以外の文化財は、福島県の指定文化財が23件、市指定の文化財が106件となっている。</p> <p>福島県指定文化財のうち美術工芸品などの分野を除くと史跡1件、建造物3件、天然記念物2件、無形民俗文化財2件の合計8件となっており、このうち6件が白河地域に集中している。</p> <p>市指定文化財のうち美術工芸品などの分野を除くと、史跡20件、建造物5件、天然記念物13件、無形文化財5件となっており、史跡は白河地域11件、表郷地域8件で白河・表郷地域に集中している。建造物は数少ないが、白河地域に3件、天然記念物は表郷地域が7件と最も多く、無形民俗文化財も表郷地域に4件が集中している。</p> <p style="text-align: center;">- 41 -</p>	<p>(P41)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第2章-</p> <p>② 国指定等以外の文化財の分布</p> <p>国指定等以外の文化財は、福島県の指定文化財が23件、市指定の文化財が102件となっている。</p> <p>福島県指定文化財のうち美術工芸品などの分野を除くと史跡1件、建造物3件、天然記念物2件、無形民俗文化財2件の合計8件となっており、このうち6件が白河地域に集中している。</p> <p>市指定文化財のうち美術工芸品などの分野を除くと、史跡18件、建造物5件、天然記念物13件、無形文化財5件となっており、史跡は白河地域9件、表郷地域8件で白河・表郷地域に集中している。建造物は数少ないが、白河地域に3件、天然記念物は表郷地域が7件と最も多く、無形文化財も表郷地域に4件が集中している。</p> <p style="text-align: center;">- 41 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P44)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 - 第3号 -</p> <p>丹羽長重廟（市指定）は、小南湖の奥の丘陵中腹に所在する。豊廟は、三方を石垣で土留めして長方形の墓域を形成し、その中央奥を墓所としている。豊廟の前面には廟所と接続する形で、拝殿が設けられている。豊廟拝殿は、天保7年（1836）に建てられたもので、桁行4間（6.6m）、梁間2間（3.8m）の入母屋造りで、前面に1間の向拝が付してある。屋根は檜皮葺であった（現在は銅版葺）。丹羽長重は、小峰城の改築、町割りの改良整備など現在の白河の町並みの基礎を築いた白河藩の初代藩主で、寛永14年（1637）閏3月4日、江戸桜田上屋敷にて67歳で没し、現在地に埋葬された。</p> <p>鈴木家住居（市指定）は、表郷金山地区大神集落に所在していたが、同家から市に寄贈され、表郷公民館敷地内に移築されたものである。建築年は移築・解体の際には判明しなかったが、築約250年と推定される。土間の広さ、馬屋、雑屋、水神社、間取り等の構造から往時の生活をよく知ることのできる当地方の典型的な百姓家住居であり、歴史的・民俗的にも貴重な建築物である。</p> <p>日吉神社（市指定）は、東蕨内地区に所在する神社で、天保11年（1840）に蕨内村の庄屋橋本地左衛門ほか49人の寄付者によって建立された。この彫刻をした宮大工の名などは伝わっていないが、1年有余も庄屋家に逗留し製作したと伝えられている。</p> <div style="text-align: center;">  <p>丹羽長重廟</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鈴木家住居</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日吉神社</p> </div> <p style="text-align: center;">- 44 -</p>	<p>(P44)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 - 第3号 -</p> <p>丹羽長重廟（市指定）は、小南湖の奥の丘陵中腹に所在する。豊廟は、三方を石垣で土留めして長方形の墓域を形成し、その中央奥を墓所としている。豊廟の前面には廟所と接続する形で、拝殿が設けられている。豊廟拝殿は、天保7年（1836）に再建されたもので、桁行4間（6.6m）、梁間2間（3.8m）の入母屋造りで、前面に1間の向拝が付してある。屋根は檜皮葺であった（現在は銅版葺）。丹羽長重は、小峰城の改築、町割りの改良整備など現在の白河の町並みの基礎を築いた白河藩の初代藩主で、寛永14年（1637）閏3月4日、江戸桜田上屋敷にて67歳で没し、現在地に埋葬された。</p> <p>鈴木家住居（市指定）は、表郷金山地区大神集落に所在していたが、同家から市に寄贈され、表郷公民館敷地内に移築されたものである。建築年は移築・解体の際には判明しなかったが、築約250年と推定される。一部改修されているが、土間の広さ、馬屋、雑屋、水神社、間取り等の構造から往時の生活をよく知ることのできる当地方の典型的な百姓家住居であり、歴史的・民俗的にも貴重な建築物である。</p> <p>日吉神社（市指定）は、東蕨内地区に所在する神社で、天保11年（1840）に蕨内村の庄屋橋本地左衛門ほか49人の寄付者によって建立された。この彫刻をした宮大工の名などは伝わっていないが、1年有余も庄屋家に逗留し製作したと伝えられている。</p> <div style="text-align: center;">  <p>丹羽長重廟</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鈴木家住居</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日吉神社</p> </div> <p style="text-align: center;">- 44 -</p>

■新旧対照表

新		旧																																																																																																																							
(P48)		(P48)																																																																																																																							
白河市歴史の風致維持向上計画 - 第3章 -		白河市歴史の風致維持向上計画 - 第2章 -																																																																																																																							
<p>文化財の位置図 (※その他文化財一覧は巻末の一覧表参照)</p>		<p>文化財の位置図 (※その他文化財一覧は巻末の一覧表参照)</p>																																																																																																																							
<p>重要文化財</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>種別</th> <th>No.</th> <th>名 称</th> <th>指定年月日</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">●</td> <td rowspan="3">史跡及び名跡</td> <td>1</td> <td>南禅公園</td> <td>大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)</td> <td>南禅区か</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>白河城跡</td> <td>平成21年2月12日(追加指定)</td> <td>区野里/倉沢か</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)</td> <td>平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)</td> <td>舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">史 跡</td> <td>4</td> <td>白河官衙遺跡群(菅原清公跡)</td> <td>昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)</td> <td>菅原様木</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>小峰城跡</td> <td>平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>白河騎城堂文書 九十通</td> <td>昭和26年3月8日</td> <td>郡内</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要美術品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>種別</th> <th>No.</th> <th>名 称</th> <th>指定年月日</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">●</td> <td rowspan="4">重要美術品 (工芸品)</td> <td>1</td> <td>刀 鞘(名物 清原重隆)</td> <td>昭和26年11月20日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和14年2月22日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和16年5月18日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和18年7月7日</td> <td>郡内</td> </tr> </tbody> </table>		凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地	●	史跡及び名跡	1	南禅公園	大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)	南禅区か	2	白河城跡	平成21年2月12日(追加指定)	区野里/倉沢か	3	白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保	史 跡	4	白河官衙遺跡群(菅原清公跡)	昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	菅原様木	5	小峰城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)	郡内			6	白河騎城堂文書 九十通	昭和26年3月8日	郡内	凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地	●	重要美術品 (工芸品)	1	刀 鞘(名物 清原重隆)	昭和26年11月20日	郡内	2	漆器(茶碗)	昭和14年2月22日	郡内	3	漆器(茶碗)	昭和16年5月18日	郡内	4	漆器(茶碗)	昭和18年7月7日	郡内	<p>重要文化財</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>種別</th> <th>No.</th> <th>名 称</th> <th>指定年月日</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">●</td> <td rowspan="3">史跡及び名跡</td> <td>1</td> <td>南禅公園</td> <td>大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)</td> <td>南禅区か</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>白河城跡</td> <td>昭和21年9月12日</td> <td>区野里/倉沢か</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)</td> <td>平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)</td> <td>舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">史 跡</td> <td>4</td> <td>白河官衙遺跡群(菅原清公跡)</td> <td>昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)</td> <td>菅原様木</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>小峰城跡</td> <td>平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>白河騎城堂文書 九十通</td> <td>昭和26年3月8日</td> <td>郡内</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要美術品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>種別</th> <th>No.</th> <th>名 称</th> <th>指定年月日</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">●</td> <td rowspan="4">重要美術品 (工芸品)</td> <td>1</td> <td>刀 鞘(名物 清原重隆)</td> <td>昭和26年11月20日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和14年2月22日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和16年5月18日</td> <td>郡内</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>漆器(茶碗)</td> <td>昭和18年7月7日</td> <td>郡内</td> </tr> </tbody> </table>		凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地	●	史跡及び名跡	1	南禅公園	大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)	南禅区か	2	白河城跡	昭和21年9月12日	区野里/倉沢か	3	白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保	史 跡	4	白河官衙遺跡群(菅原清公跡)	昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	菅原様木	5	小峰城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)	郡内			6	白河騎城堂文書 九十通	昭和26年3月8日	郡内	凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地	●	重要美術品 (工芸品)	1	刀 鞘(名物 清原重隆)	昭和26年11月20日	郡内	2	漆器(茶碗)	昭和14年2月22日	郡内	3	漆器(茶碗)	昭和16年5月18日	郡内	4	漆器(茶碗)	昭和18年7月7日	郡内
凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地																																																																																																																				
●	史跡及び名跡	1	南禅公園	大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)	南禅区か																																																																																																																				
		2	白河城跡	平成21年2月12日(追加指定)	区野里/倉沢か																																																																																																																				
		3	白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保																																																																																																																				
	史 跡	4	白河官衙遺跡群(菅原清公跡)	昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	菅原様木																																																																																																																				
		5	小峰城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)	郡内																																																																																																																				
			6	白河騎城堂文書 九十通	昭和26年3月8日	郡内																																																																																																																			
凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地																																																																																																																				
●	重要美術品 (工芸品)	1	刀 鞘(名物 清原重隆)	昭和26年11月20日	郡内																																																																																																																				
		2	漆器(茶碗)	昭和14年2月22日	郡内																																																																																																																				
		3	漆器(茶碗)	昭和16年5月18日	郡内																																																																																																																				
		4	漆器(茶碗)	昭和18年7月7日	郡内																																																																																																																				
凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地																																																																																																																				
●	史跡及び名跡	1	南禅公園	大正13年11月9日 昭和26年9月18日(追加指定)	南禅区か																																																																																																																				
		2	白河城跡	昭和21年9月12日	区野里/倉沢か																																																																																																																				
		3	白河赤田・本宿遺跡群(下総塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・本宿赤井戸・本宿野地久保																																																																																																																				
	史 跡	4	白河官衙遺跡群(菅原清公跡)	昭和22年8月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	菅原様木																																																																																																																				
		5	小峰城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定)	郡内																																																																																																																				
			6	白河騎城堂文書 九十通	昭和26年3月8日	郡内																																																																																																																			
凡例	種別	No.	名 称	指定年月日	所在地																																																																																																																				
●	重要美術品 (工芸品)	1	刀 鞘(名物 清原重隆)	昭和26年11月20日	郡内																																																																																																																				
		2	漆器(茶碗)	昭和14年2月22日	郡内																																																																																																																				
		3	漆器(茶碗)	昭和16年5月18日	郡内																																																																																																																				
		4	漆器(茶碗)	昭和18年7月7日	郡内																																																																																																																				
- 48 -		- 48 -																																																																																																																							

■新旧対照表

新

(P49)

白河市歴史の風致維持向上計画 第3巻

県指定文化財					
凡例	種別	No	名 称	指定年月日	所在地
	史跡	1	白川城跡 〔附〕礎石跡	昭和28年10月1日	黒沢庄か
	天然記念物	2	ビヤッコイ養生池	昭和30年12月27日	養徳金山 宇土谷池・瀧戸池
	重要文化財 (建造物)	3	白河の一本松	昭和44年4月11日	大正町豊平宮本
	重要文化財 (建造物)	4	小島神社	昭和46年3月23日	豊安町
	重要文化財 (建造物)	5	白河ハリストス正教教会堂	平成5年3月23日	豊安町
	重要文化財 (建造物)	6	松風亭蔵月庵	平成4年3月31日	菅生郷
	重要文化財 (建造物)	7	結木家色紙曲道行状巻物	昭和45年4月24日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (彫刻)	8	白河ハリストス正教教会のイコン	昭和56年3月25日	豊安町
	重要文化財 (彫刻)	9	水邊源義和尙坐像	昭和43年12月10日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (工芸品)	10	鳥居彫	昭和28年10月1日	中田
	重要文化財 (工芸品)	11	熊鷹彫	昭和46年10月1日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (工芸品)	12	津守堂八角鐘	昭和28年10月1日	中田
	重要文化財 (工芸品)	13	菅網織	昭和43年12月10日	養徳金山宇土谷
	重要文化財 (工芸品)	14	〔附〕菅網織坐像・地蔵菩薩像・文殊菩薩像・龍正法	昭和41年3月31日	中田
	重要文化財 (考古資料)	15	熊鷹神鏡正法 六臂	平成7年3月31日	大正町小貫堂敷
	重要文化財 (考古資料)	16	菅網織	昭和46年3月23日	中田
	重要文化財 (考古資料)	17	菅網織神鏡出土品	平成7年3月31日	中田
	重要文化財 (考古資料)	18	〔附〕菅網織神鏡出土品出土品	平成11年3月31日	中田
	重要文化財 (考古資料)	19	〔附〕菅網織神鏡出土品出土品	平成17年4月15日	中田
	重要文化財 (考古資料)	20	白河城跡神鏡	平成16年3月23日	中田
	重要有形 民俗文化財	21	結木家色紙書	昭和38年3月22日	向原郷
	重要有形 民俗文化財	22	〔附〕結木家色紙書・熊鷹彫・子持算盤引算・巻物算盤	昭和45年3月20日	結田
	重要有形 民俗文化財	23	奥村白河家伝	平成5年3月23日	天徳町

市町村指定文化財					
凡例	種別	No	名 称	指定年月日	所在地
	史跡及び名勝	1	本郷の池	昭和60年4月1日	養徳宇土谷山
	史跡及び名勝	2	立巻神社	昭和36年3月7日	養徳町
	史跡及び名勝	3	白河藩大名家墓所 〔内宮前墓所・松平重定墓・松平重定墓・松平重定墓〕	昭和39年3月6日 平成22年8月24日(追加指定)	内明寺庄か
	史跡及び名勝	4	立巻神社	昭和41年2月6日	大正郷
	史跡及び名勝	5	〔内宮前墓所(菅網織)〕	昭和46年3月14日	養徳中寺堂敷内
	史跡及び名勝	6	松風亭蔵月庵の井	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷内
	史跡及び名勝	7	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷
	史跡及び名勝	8	養徳三十三観音及び〔附〕松平重定墓	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷
	史跡及び名勝	9	養徳三十三観音	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷庄か
	史跡及び名勝	10	天正城跡	昭和55年3月14日	養徳町菅田宇土谷
	史跡及び名勝	11	結木家色紙書	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	12	養徳三十三観音	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	13	〔附〕養徳三十三観音の遺構	平成22年3月20日	白河市
	史跡及び名勝	14	〔内一山氏墓所(附)正徳義典の碑〕	平成21年8月28日	養徳金山
	史跡及び名勝	15	白河城跡の一景	平成21年8月28日	白河石段跡跡か
	史跡及び名勝	16	菅網織	平成24年1月10日	白河市
	史跡及び名勝	17	菅網織	平成24年4月11日	白河市
	史跡及び名勝	18	菅網織及び〔附〕菅網織	平成24年4月11日	白河市
	史跡及び名勝	19	天徳山(附)天神神社	平成26年4月17日	天徳町
	史跡及び名勝	20	山崎神社	平成27年1月10日	菅生郷
	史跡及び名勝	21	〔附〕菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	22	天徳山神社	昭和46年4月1日	大正町菅田宇土谷
	史跡及び名勝	23	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	24	山崎神社	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	25	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	26	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	27	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	28	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	29	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	30	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	31	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	32	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	33	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	34	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	35	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	36	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	37	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	38	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	39	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	40	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	41	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	42	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	43	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	44	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	45	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	46	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	47	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	48	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	49	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	50	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	51	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	52	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	53	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	54	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	55	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	56	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	57	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	58	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	59	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	60	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	61	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	62	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	63	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	64	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	65	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	66	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	67	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	68	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	69	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	70	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	71	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	72	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	73	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	74	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	75	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	76	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	77	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	78	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	79	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	80	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	81	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	82	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	83	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	84	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	85	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	86	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	87	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	88	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	89	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	90	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	91	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	92	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	93	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	94	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	95	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	96	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	97	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	98	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	99	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	100	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	101	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	102	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	103	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	104	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	105	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	106	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	107	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝	108	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺

旧

(P49)

白河市歴史の風致維持向上計画 第2巻








県指定文化財					
凡例	種別	No	名 称	指定年月日	所在地
	史跡	1	白川城跡 〔附〕礎石跡	昭和28年10月1日	黒沢庄か
	天然記念物	2	ビヤッコイ養生池	昭和30年12月27日	養徳金山 宇土谷池・瀧戸池
	重要文化財 (建造物)	3	白河の一本松	昭和44年4月11日	大正町豊平宮本
	重要文化財 (建造物)	4	小島神社	昭和46年3月23日	豊安町
	重要文化財 (建造物)	5	白河ハリストス正教教会堂	平成5年3月23日	豊安町
	重要文化財 (建造物)	6	松風亭蔵月庵	平成4年3月31日	菅生郷
	重要文化財 (建造物)	7	結木家色紙曲道行状巻物	昭和45年4月24日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (彫刻)	8	白河ハリストス正教教会のイコン	昭和56年3月25日	豊安町
	重要文化財 (彫刻)	9	水邊源義和尙坐像	昭和43年12月10日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (工芸品)	10	鳥居彫	昭和28年10月1日	中田
	重要文化財 (工芸品)	11	熊鷹彫	昭和46年10月1日	養徳中寺堂敷
	重要文化財 (工芸品)	12	津守堂八角鐘	昭和28年10月1日	中田
	重要文化財 (工芸品)	13	菅網織	昭和43年12月10日	養徳金山宇土谷
	重要文化財 (工芸品)	14	〔附〕菅網織坐像・地蔵菩薩像・文殊菩薩像・龍正法	昭和41年3月31日	中田
	重要文化財 (工芸品)	15	熊鷹神鏡正法 六臂	平成7年3月31日	大正町小貫堂敷
	重要文化財 (工芸品)	16	菅網織	昭和46年3月23日	中田
	重要文化財 (工芸品)	17	菅網織神鏡出土品	平成7年3月31日	中田
	重要文化財 (工芸品)	18	〔附〕菅網織神鏡出土品出土品	平成11年3月31日	中田
	重要文化財 (工芸品)	19	〔附〕菅網織神鏡出土品出土品	平成17年4月15日	中田
	重要文化財 (工芸品)	20	白河城跡神鏡	平成16年3月23日	中田
	重要有形 民俗文化財	21	結木家色紙書	昭和38年3月22日	向原郷
	重要有形 民俗文化財	22	〔附〕結木家色紙書・熊鷹彫・子持算盤引算・巻物算盤	昭和45年3月20日	結田
	重要有形 民俗文化財	23	奥村白河家伝	平成5年3月23日	天徳町

市町村指定文化財					
凡例	種別	No	名 称	指定年月日	所在地
	史跡及び名勝	1	本郷の池	昭和60年4月1日	養徳宇土谷山
	史跡及び名勝	2	立巻神社	昭和36年3月7日	養徳町
	史跡及び名勝	3	白河藩大名家墓所 〔内宮前墓所・松平重定墓・松平重定墓・松平重定墓〕	昭和39年3月6日 平成22年8月24日(追加指定)	内明寺庄か
	史跡及び名勝	4	立巻神社	昭和41年2月6日	大正郷
	史跡及び名勝	5	〔内宮前墓所(菅網織)〕	昭和46年3月14日	養徳中寺堂敷内
	史跡及び名勝	6	松風亭蔵月庵の井	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷内
	史跡及び名勝	7	菅網織	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷
	史跡及び名勝	8	養徳三十三観音及び〔附〕松平重定墓	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷
	史跡及び名勝	9	養徳三十三観音	昭和55年3月14日	養徳中寺堂敷庄か
	史跡及び名勝	10	天正城跡	昭和55年3月14日	養徳町菅田宇土谷
	史跡及び名勝	11	結木家色紙書	昭和55年3月14日	養徳中之内開隆寺
	史跡及び名勝				














■新旧対照表

新	旧
<p>(P65)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3巻</p> <p>祭礼1日目夜 渡御ルート</p> <p>1日目と3日目に祭礼の舞台となる鹿嶋神社の由緒等については前述のとおりであり、古代から遅くとも中世前期には現在地に鎮座していたと考えられる。1日目、神輿が神社から出発する時と3日目に神社へ帰還する時、神輿は阿武隈川を渡河する。祭礼の由来でも述べたが、中世まで神社南側に弘川という川が流れており、この岸に神輿が遷座していたという。弘川は瀬の地としての川であったろうと考えられる。江戸時代に祭礼が復活し、川向の城下へ神輿を遷座させる必要から、阿武隈川を神輿が渡る必要が生じた。この渡河は神輿を担ぐ勇壮な場面として、祭礼の大きな見せ場の一つとなっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 1107 607 1286"> <p>江戸時代「奥州白河城下全図」</p> </div> <div data-bbox="618 1107 967 1286"> <p>江戸時代「桜町絵図」にみえる「御旅所」</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">- 65 -</p>	<p>(P65)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3巻</p> <p>祭礼1日目夜 渡御ルート</p> <p>1日目と3日目に祭礼の舞台となる鹿嶋神社の由緒等については前述のとおりであり、古代から遅くとも中世前期には現在地に鎮座していたと考えられる。1日目、神輿が神社から出発する時と3日目に神社へ帰還する時、神輿は阿武隈川を渡河する。祭礼の由来でも述べたが、中世まで神社南側に弘川という川が流れており、この岸に神輿が遷座していたという。弘川は瀬の地としての川であったろうと考えられる。江戸時代に祭礼が復活し、川向の城下へ神輿を遷座させる必要から、阿武隈川を神輿が渡る必要が生じた。この渡河は神輿を担ぐ勇壮な場面として、祭礼の大きな見せ場の一つとなっている。</p> <p style="text-align: center;">- 65 -</p>











■新旧対照表

新	旧
<p>(P66)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3号-</p> <p>御旅所の置かれる桜町は、江戸時代の小峰城下の東端の町である。室町・戦国期には、城下へは桜町から城下に入っていたと考えられている。桜町のはずれには石川街道と棚倉街道に分岐する追分があり、通称「宗祇戻し」と呼ばれ、室町時代の連歌師である飯尾宗祇が白河結城家中の連歌レベルが余りに高いのに驚いて、この追分から引き戻ってしまったとの伝承がある。桜町は、町人町では鹿嶋神社に一番近接した町で宮本と呼ばれており、祭礼において神社神輿を神社より借り受ける総責任町であり、祭礼を執り行う町である。このようなことから、桜町には鹿嶋神社の神輿の城下渡御の際の拠点として御旅所が置かれたものと考えられる。なお、御旅所の社殿は近年確認されたものである。</p> <p>1日目の神輿渡御のルート沿いの桜町には、味噌・醤油等を製造する老舗の歴史的建造物が通りの両側に立ち並ぶ。紙屋醸造店は、古くからの老舗で、大正10年(1921)建築の切妻・平入りの店構えの建造物で、店内は奥の醤油蔵へと続く土間空間が広がっている。店の隣には漆喰の蔵が並立するように配置され、内部は蔵座敷となっている。この向かい側には明治3年(1870)建築の須釜醸造店の切妻・平入りの店と、通りに面して文化13年(1816)建築の長い蔵が立ち並んでいる。また、上の片野屋呉服店は、昭和38年建築の蔵造りの伝統的な店構えで、奥には天保年間(1830~44)建築の蔵が立ち並んでいる。</p> <p>同じくルート沿いの旭町には、江戸期の切妻・平入りの建造物で、見世蔵として建築された当時の格子が今なお残る山崎家や、明治期の建築で、床の間や違い棚、優れた匠の技術を施した建具等を備えた松島家蔵座敷や、明治期から大正期にかけて建築、増築された会津屋の主屋が立ち並んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:紙屋醸造店 右:須釜醸造店 (いずれも桜町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:上の片野屋呉服店 右:渡邊お茶店 (いずれも桜町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">- 66 -</p>	<p>(P66)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3号-</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <p>宮本町の御旅所</p>  <p>江戸時代「奥州白河城下全圖」 江戸時代「桜町絵図」にみえる「御旅所」</p> </div> <p>御旅所の置かれる桜町は、江戸時代の小峰城下の東端の町である。室町・戦国期には、城下へは桜町から城下に入っていたと考えられている。桜町のはずれには石川街道と棚倉街道に分岐する追分があり、通称「宗祇戻し」と呼ばれ、室町時代の連歌師である飯尾宗祇が白河結城家中の連歌レベルが余りに高いのに驚いて、この追分から引き戻ってしまったとの伝承がある。桜町は、町人町では鹿嶋神社に一番近接した町で宮本と呼ばれており、祭礼において神社神輿を神社より借り受ける総責任町であり、祭礼を執り行う町である。このようなことから、桜町には鹿嶋神社の神輿の城下渡御の際の拠点として御旅所が置かれたものと考えられる。なお、御旅所の社殿は近年確認されたものである。</p> <p>1日目の神輿渡御のルート沿いの桜町には、味噌・醤油等を製造する老舗の歴史的建造物が通りの両側に立ち並ぶ。紙屋醸造店は、古くからの老舗で、大正10年(1921)建築の切妻・平入りの店構えの建造物で、店内は奥の醤油蔵へと続く土間空間が広がっている。店の隣には漆喰の蔵が並立するように配置され、内部は蔵座敷となっている。この向かい側には明治3年(1870)建築の須釜醸造店の切妻・平入りの店と、通りに面して文化13年(1816)建築の長い蔵が立ち並んでいる。また、上の片野屋呉服店は、昭和38年建築の蔵造りの伝統的な店構えで、奥には天保年間(1830~44)建築の蔵が立ち並んでいる。</p> <p>同じくルート沿いの旭町には、明治期の建築で、床の間や違い棚、優れた匠の技術を施した建具等を備えた松島家蔵座敷や、明治期から大正期にかけて建築、増築された会津屋の主屋が立ち並んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:紙屋醸造店 右:須釜醸造店 (いずれも桜町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">- 66 -</p>

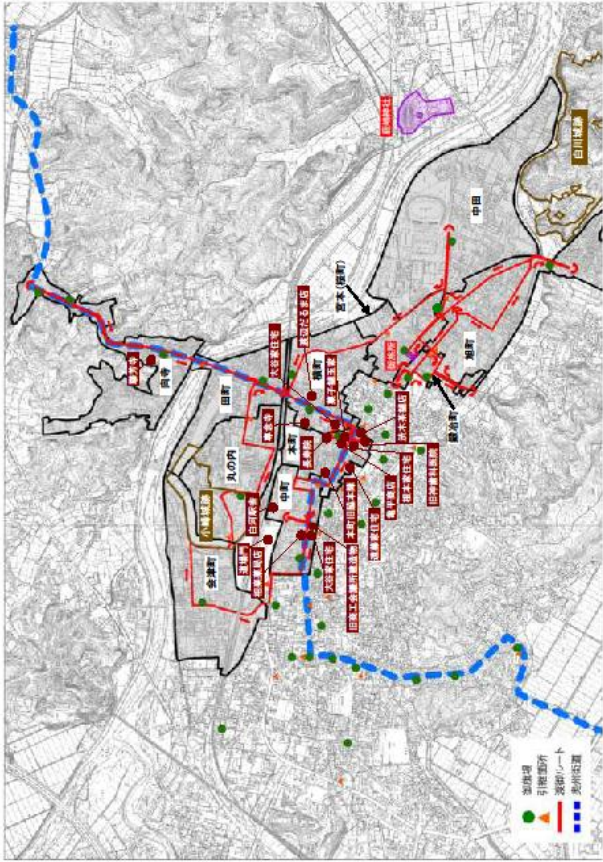
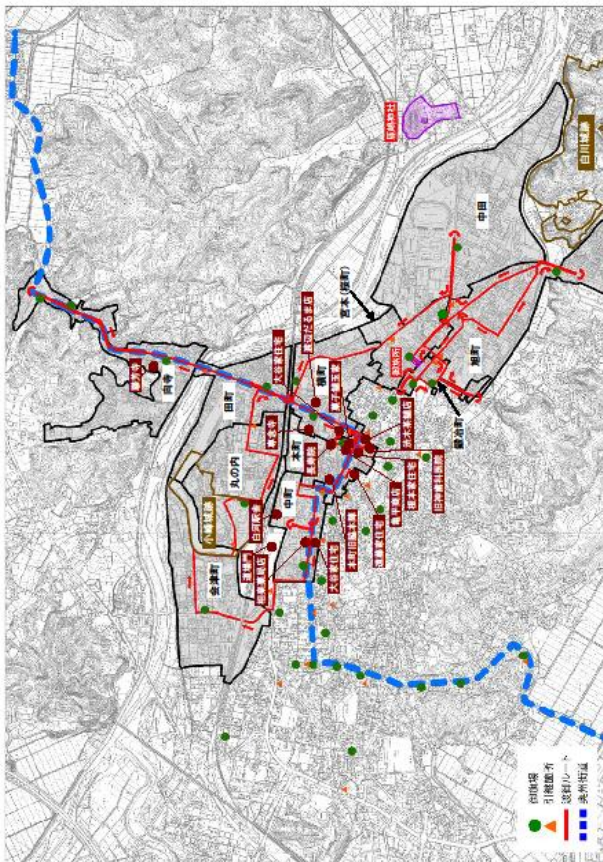
■新旧対照表

新	旧
<p>(P67)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3章-</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:松島家蔵座敷 石:金津屋 (いづれも旭町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>山崎家住宅 (旭町)</p> </div> </div> <p>オ. 祭礼 2 日目</p> <p>祭礼 2 日目は、早朝より神輿の総町渡御が行われる。桜町御旅所で一泊した神輿をこの日より 2 日間かけて氏子の総町を渡御する。2 日目の総町渡御は、桜町御旅所がある下方部から中方部を通り上方部までの旧城下町南側の各町内を神輿が巡幸する。神輿は、下方部の桜町、年貢町、馬町、中方部の南町、新蔵町、大工町、愛宕町(先達)、上方部の金屋町、天神町、道場町、昭和町、登町を経て大町(九番町)までの 13 町内を渡御する。神輿は、各町内の氏子により供奉され、町から町へと神輿が渡御される。この際、町境にて「町内渡御引継」が行われる。この儀式は、各町へ入る前に、神輿を宮本・桜町から預けられ、町境を出る際に、神輿を宮本・桜町へと戻し、次の町へ引き継ぐものである。また、祭礼中、各町内には「御旗場」が設けられ、この旗場を神輿が通過する際には、神楽奉納等の神事が執り行われる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>御旗場での神事</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>総町渡御</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神輿引継ぎの様子</p> </div> </div>	<p>(P67)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第3章-</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:上の片野屋 呉服店 右:渡邊お茶店 (いづれも桜町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>左:松島家蔵座敷 石:金津屋 (いづれも旭町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>オ. 祭礼 2 日目</p> <p>祭礼 2 日目は、早朝より神輿の総町渡御が行われる。桜町御旅所で一泊した神輿をこの日より 2 日間かけて氏子の総町を渡御する。2 日目の総町渡御は、桜町御旅所がある下方部から中方部を通り上方部までの旧城下町南側の各町内を神輿が巡幸する。神輿は、下方部の桜町、年貢町、馬町、中方部の南町、新蔵町、大工町、愛宕町(先達)、上方部の金屋町、天神町、道場町、昭和町、登町を経て大町(九番町)までの 13 町内を渡御する。神輿は、各町内の氏子により供奉され、町から町へと神輿が渡御される。この際、町境にて「町内渡御引継」が行われる。この儀式は、各町へ入る前に、神輿を宮本・桜町から預けられ、町境を出る際に、神輿を宮本・桜町へと戻し、次の町へ引き継ぐものである。また、祭礼中、各町内には「御旗場」が設けられ、この旗場を神輿が通過する際には、神楽奉納等の神事が執り行われる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>御旗場での神事</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>総町渡御</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神輿引継ぎの様子</p> </div> </div>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P75)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3号</p> <p>駅舎から東北本線を潜ると丸の内町内会地区となり、史跡小峰城跡が所在する。江戸時代の城郭遺構二の丸にほぼ相当する区域は芝生広場として公園の利用がなされ、本丸部は石垣と水堀に取り囲まれ、三重櫓や前御門が当時の絵図に基づき忠実に木造復元されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 史跡小峰城跡芝生広場(二の丸) 本丸を取り囲む水堀(蛇の尾堀) </p> <p>中町の旧奥州街道沿線には、歴史的建造物が数多く残されている。伝統的な切妻・平入りの商家造りや蔵造りの建物が随所にみられ、中でも大谷家住宅、相楽薬局は、伝統的な蔵造りの商家で、いずれも明治から大正期に建築された歴史的建造物である。また、明治期に建てられた瓦葺の奇棟造りの土蔵でありながら、洋風の内装が施された趣のある旧商工会議所建造物が所在している。</p> <p>横町では、明治期に建てられた蔵が複数所在する大谷家住宅や、古くからだるま製造業を営む渡辺だるま店などの歴史的建造物が通りに面して所在している。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(2, 1fr); gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>大谷家住宅(中町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>相楽薬局(中町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>旧商工会議所建造物(中町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大谷家住宅(横町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>渡辺だるま店(横町)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">- 75 -</p>	<p>(P75)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3号</p> <p>駅舎から東北本線を潜ると丸の内町内会地区となり、史跡小峰城跡が所在する。江戸時代の城郭遺構二の丸にほぼ相当する区域は芝生広場として公園の利用がなされ、本丸部は石垣と水堀に取り囲まれ、三重櫓や前御門が当時の絵図に基づき忠実に木造復元されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 史跡小峰城跡芝生広場(二の丸) 本丸を取り囲む水堀(蛇の尾堀) </p> <p>中町の旧奥州街道沿線には、歴史的建造物が数多く残されている。伝統的な切妻・平入りの商家造りや蔵造りの建物が随所にみられ、中でも大谷家住宅、相楽薬局は、伝統的な蔵造りの商家で、いずれも明治から大正期に建築された歴史的建造物である。また、横町では、明治期に建てられた蔵が複数所在する大谷家住宅や、古くからだるま製造業を営む渡辺だるま店などの歴史的建造物が通りに面して所在している。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(2, 1fr); gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>大谷家住宅(中町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>相楽薬局(中町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大谷家住宅(横町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>渡辺だるま店(横町)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">- 75 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P76)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -第3巻-</p> <p style="text-align: center;">祭礼3日目昼 総町渡御ルート</p>  <p style="text-align: center;">- 76 -</p>	<p>(P76)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -第3巻-</p> <p style="text-align: center;">祭礼3日目昼 総町渡御ルート</p>  <p style="text-align: center;">- 76 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P138)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3章</p> <p>(10) 計画実施の推進体制</p> <p>白河市では、平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を新たに設置した。</p> <p>平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり（歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化）、都市計画、文化財各部門の連携による足元の資源を活かしたまちづくりを推進するための体制を強化した。</p> <p>また、白河市の歴史的風致を維持及び向上していくための各種事業や取り組みを、庁内関係各部及び各課で推進及び調整する「白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。</p> <p>さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、白河市都市計画審議会、白河市景観審議会、白河市文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。</p> <p style="text-align: center;">- 138 -</p>	<p>(P138)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第3章</p> <p>(10) 計画実施の推進体制</p> <p>白河市では、平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を新たに設置した。</p> <p>平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり（歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化）、都市計画、文化財各部門の連携による足元の資源を活かしたまちづくりを推進するための体制を強化した。</p> <p>また、白河市の歴史的風致を維持及び向上していくための各種事業や取り組みを、庁内関係各部及び各課で推進及び調整する「白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。</p> <p>さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、白河市都市計画審議会、白河市景観審議会、白河市文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。</p> <p style="text-align: center;">- 138 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P144)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>重点区域の概観</p> <p style="text-align: center;">- 144 -</p>	<p>(P144)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>重点区域の概観</p> <p style="text-align: center;">- 144 -</p>

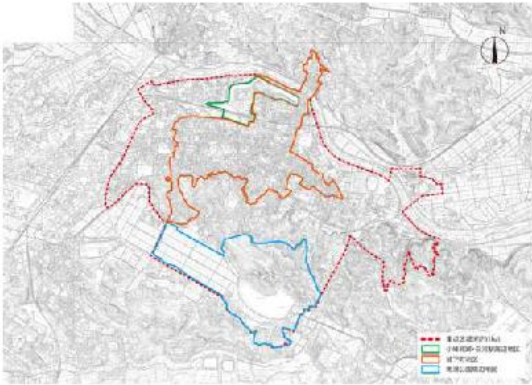
■新旧対照表

新	旧
<p>(P147)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第4章</p> <hr/> <p>(4) 重点区域における歴史的風致維持向上に関する取り組み</p> <p>① 都市計画の活用</p> <p>白河市の都市計画は、白河市・西郷村・中島村・泉崎村・矢吹町の1市1町3村が属する県南都市計画区域（非線引き都市計画区域）に指定されている。ただし、山間部である表郷大神地域・大信権太倉山地域の白河市の一部については都市計画区域外となっている。</p> <p>当該重点区域は、小峰城と城下町の整備以来、人々の暮らしや商工業の集積地として今日まで白河市の中心市街地であることから、その多くの範囲が商業地域、近隣商業地域、第1種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域に用途指定されている。また、重点区域の外縁にある準工業地域では床面積10,000㎡を超える大規模集客施設の立地を制限する特別用途地区を指定している。</p> <p>また、当該重点区域内には、景観法に基づく白河市景観計画における小峰城跡・白河駅周辺地区、南湖公園周辺地区の景観計画重点区域が含まれており、将来的には景観地区指定を検討する。</p> <p>さらに、当該重点区域を含む一部の区域については風致地区として256.3haが指定されている。小峰城跡、南湖公園周辺については第1種風致地区（小峰城跡風致地区、南湖風致地区）、小南湖周辺、白川城跡周辺については第2種風致地区（中央風致地区、堀目風致地区）として指定し、建築物や樹木の伐採などの規制を行っている。</p> <p>白河市の中心市街地には、歴史的な街道である旧奥州街道が南北に通っていることから、今後の都市計画道路の見直しにおいても歴史的町並みに配慮した計画及び整備を検討している。すでに都市計画道路昭和町桜町線の一部については廃止、これに替え歴史的街路のカギ型を活かした一番町大工町線への都市計画決定も行っている（平成22年4月）。また、史跡小峰城跡の北側近接地を東西に通過する都市計画道路会津町田町線についても廃止となっている（平成25年4月）。さらには、歩行系ネットワークの充実を図るため、平成25年度より、都市計画道路乙姫桜ブロード2号線及び3号線の整備に着手している。また、史跡小峰城跡を縦断していた都市計画道路白河中央線について、平成26年8月に都市計画変更を行った。今後も、道場町南湖線、昭和町桜町線などの都市計画道路の見直しにおいては、旧奥州街道や歴史的町並みに配慮した都市計画変更を検討する予定である。</p> <p>そのほか、南湖公園区域の一部について、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能とするため、歴史的風致維持向上地区計画の策定について検討する。</p> <p style="text-align: center;">- 147 -</p>	<p>(P147)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第4章</p> <hr/> <p>(4) 重点区域における歴史的風致維持向上に関する取り組み</p> <p>① 都市計画の活用</p> <p>白河市の都市計画は、白河市・西郷村・中島村・泉崎村・矢吹町の1市1町3村が属する県南都市計画区域（非線引き都市計画区域）に指定されている。ただし、山間部である表郷大神地域・大信権太倉山地域の白河市の一部については都市計画区域外となっている。</p> <p>当該重点区域は、小峰城と城下町の整備以来、人々の暮らしや商工業の集積地として今日まで白河市の中心市街地であることから、その多くの範囲が商業地域、近隣商業地域、第1種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域に用途指定されている。また、重点区域の外縁にある準工業地域では床面積10,000㎡を超える大規模集客施設の立地を制限する特別用途地区を指定している。</p> <p>また、当該重点区域内には、景観法に基づく白河市景観計画における小峰城跡・白河駅周辺地区、南湖公園周辺地区の景観計画重点区域が含まれており、将来的には景観地区指定を検討する。</p> <p>さらに、当該重点区域を含む一部の区域については風致地区として256.3haが指定されている。小峰城跡、南湖公園周辺については第1種風致地区（小峰城跡風致地区、南湖風致地区）、小南湖周辺、白川城跡周辺については第2種風致地区（中央風致地区、堀目風致地区）として指定し、建築物や樹木の伐採などの規制を行っている。</p> <p>白河市の中心市街地には、歴史的な街道である旧奥州街道が南北に通っていることから、今後の都市計画道路の見直しにおいても歴史的町並みに配慮した計画及び整備を検討している。すでに都市計画道路昭和町桜町線の一部については廃止、これに替え歴史的街路のカギ型を活かした一番町大工町線への都市計画決定も行っている（平成22年4月）。また、史跡小峰城跡の北側近接地を東西に通過する都市計画道路会津町田町線についても廃止となっている（平成25年4月）。さらには、歩行系ネットワークの充実を図るため、平成25年度より、都市計画道路乙姫桜ブロード2号線及び3号線の整備に着手している。今後も、白河中央線、道場町南湖線、白河駅白坂線などの都市計画道路の見直しにおいては、旧奥州街道や歴史的町並みに配慮した都市計画変更を検討する予定である。</p> <p style="text-align: center;">- 147 -</p>





■新旧対照表

新	旧
<p>(P148)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第4章</p> <p>重点区域と都市計画総括図</p> <p>重点区域の都市計画図</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔一帯町人工町線〕 〔乙原アロマナード3号線〕 〔会津町山町線の一部廃止区間〕 〔乙原アロマナード2号線〕 〔昭和町笹町線の一部廃止区間〕 〔白河駅白旗線〕 〔速野町南線〕 <p>○ 変更部分（一部） ※白河中央線は変更前のもの</p> <p style="text-align: center;">- 148 -</p>	<p>(P148)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第4章</p> <p>重点区域と都市計画総括図</p> <p>重点区域の都市計画図</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔一帯町人工町線〕 〔乙原アロマナード3号線〕 〔会津町山町線の一部廃止区間〕 〔乙原アロマナード2号線〕 〔昭和町笹町線の一部廃止区間〕 〔白河駅白旗線〕 〔速野町南線〕 <p style="text-align: center;">- 148 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P149)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>② 景観計画の活用</p> <p>白河市は、平成21年4月に景観法に基づく景観行政団体となり、平成23年4月から「白河市景観計画」を施行している。</p> <p>景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区については、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。平成25年3月の計画の一部変更により、城下町地区の中でも、旧奥州街道等、白河市の歴史経緯を象徴する街道沿いの一部区域を重点推進区域に指定し、「白河市景観形成ガイドライン」（平成24年3月策定）に基づく建築物等に対する景観補助等に取り組むなど、今後、重点的に景観形成を推進する方針である。今後は、当該重点区域と景観計画との整合性を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。さらには、平成26年12月の計画の一部変更により、小峰城・白河駅周辺地区重点区域を拡大し、また、重点区域及び城下町地区重点推進区域を除く景観計画区域の建築物において、良好な景観形成に支障のない程度に限り、アクセントカラーの色彩基準を適用することとしている。</p>  <p style="text-align: center;">- 149 -</p>	<p>(P149)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>② 景観計画の活用</p> <p>白河市は、平成21年4月に景観法に基づく景観行政団体となり、平成23年4月から「白河市景観計画」を施行している。</p> <p>景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区については、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。さらには、平成25年3月の計画の一部変更により、城下町地区の中でも、旧奥州街道等、白河市の歴史経緯を象徴する街道沿いの一部区域を重点推進区域に指定し、「白河市景観形成ガイドライン」（平成24年3月策定）に基づく建築物等に対する景観補助等に取り組むなど、今後、重点的に景観形成を推進する方針である。今後は、当該重点区域と景観計画との整合性を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。</p>  <p style="text-align: center;">- 149 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P150)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>小峰城跡・白河駅周辺地区は、景観計画重点区域に指定している。この重点区域については、建築物等の高さはそれぞれのゾーンの中で小峰城三重櫓への眺望を確保するため、北地区、駅舎地区ともに駅プラットホームの屋根を超えないこととし、南地区については現在建設中の図書館の高さを超えないものとする景観形成基準を設けている。形態意匠や色彩については城跡風致に調和することの基準を設けている。</p>  <p style="text-align: center;">景観計画重点区域 小峰城跡・白河駅周辺地区エリア図</p> <p>城下町地区は景観計画推進区域に指定し、建築物の高さは、主要な視点場から小峰城三重櫓への眺望景観を保全するため15mの高さを超えないものとする景観形成基準を設けている。このほか、建築物の形態意匠の基準として城下町らしい連続する美を追求するため、勾配屋根とすることや統一感のある形態意匠とすること、色彩はR・YR・Y系についてマンセル表色系の彩度を4以下とするなどの基準を設けている。</p> <p>城下町地区の中でも、歴史的風致形成建造物等の歴史的景観資源が豊富に存在する旧奥州街道等の一部区間を「重点推進区域」に指定し、今後、重点的に景観形成を推進する方針である。</p>  <p style="text-align: center;">景観計画推進区域 城下町地区エリア図</p> <p style="text-align: center;">- 150 -</p>	<p>(P150)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第4章-</p> <p>小峰城跡・白河駅周辺地区は、景観計画重点区域に指定している。この重点区域については、建築物等の高さはそれぞれのゾーンの中で小峰城三重櫓への眺望を確保するため、北地区、駅舎地区ともに駅プラットホームの屋根を超えないこととし、南地区については現在建設中の図書館の高さを超えないものとする景観形成基準を設けている。形態意匠や色彩については城跡風致に調和することの基準を設けている。</p>  <p style="text-align: center;">景観計画重点区域 小峰城跡・白河駅周辺地区エリア図</p> <p>城下町地区は景観計画推進区域に指定し、建築物の高さは、主要な視点場から小峰城三重櫓への眺望景観を保全するため15mの高さを超えないものとする景観形成基準を設けている。このほか、建築物の形態意匠の基準として城下町らしい連続する美を追求するため、勾配屋根とすることや統一感のある形態意匠とすること、色彩はR・YR・Y系についてマンセル表色系の彩度を4以下とするなどの基準を設けている。</p> <p>城下町地区の中でも、歴史的風致形成建造物等の歴史的景観資源が豊富に存在する旧奥州街道等の一部区間を「重点推進区域」に指定し、今後、重点的に景観形成を推進する方針である。</p>  <p style="text-align: center;">景観計画推進区域 城下町地区エリア図</p> <p style="text-align: center;">- 150 -</p>



■新旧対照表

新	旧
<p>(P152)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>第5章 文化財の保存又は活用に関する事項</p> <p>(1) 文化財の保存・活用の現況と今後の方針</p> <p>原始・古代から近・現代に至るまで、歴史・文化・伝統が息づく白河市では、文化財保護法や福島県文化財保護条例を基本とした国・県指定文化財の保存・活用はもちろんのこと、市内にある重要な文化財についても白河市文化財保護条例や文化財保護条例施行規則を制定し、その保存・活用に努めてきた。</p> <p>現在、市内には国指定6件、重要美術品4件、県指定23件、市指定104件の計137件の指定等文化財があり、その内訳は、史跡・名勝25件、天然記念物15件、工芸品29件、古文書2件、書籍5件、建造物8件、絵画8件、彫刻10件、考古資料16件、歴史資料8件、有形民俗文化財4件、無形民俗文化財7件となっている。</p> <p>指定文化財のうち、国指定の史跡・名勝については、保存管理計画を策定し適切な保存・管理に努めることが求められるが、現在のところ保存管理計画が策定されているのは史跡及び名勝南湖公園、史跡小峰城跡の2箇所であることから、今後は他の史跡についても計画的に保存管理計画書の策定を図り、史跡の適切な保存管理に努めていく。</p> <p>その他の指定文化財については、文化財保護法に基づく、保存管理を引き続き行っていく。</p> <p>県・市指定文化財については、それぞれ文化財保護条例に基づく保存管理を行ってきたが、明確な保存管理に向けた指針が示されていないことから、指定文化財すべてを包括した形での指針を策定し、統一的な文化財の保存管理に努めていく。</p> <p>指定外の文化財については、現状調査のもと重要性や緊急性を踏まえ、市指定文化財候補リストに登録し、文化財指定に向けた取り組みを随時行っているが、今後も引き続き行っていく。</p> <p>指定・未指定にかかわらず、無形民俗文化財については、地域に根ざし受け継がれたものであることから、その内容について調査を行い、活動に対する支援事業を立ち上げその保護に努めてきた。しかし、後継者不足により活動休止となる事例も見られることから、引き続き支援事業を行うとともに、映像による活動の記録保存を行っていく。</p> <p>だるま製造や醸造業などの伝統産業については、技術やそれが営まれてきた建造物等を含む総合的な調査を進めるとともに、技術や建造物の保全に努めていく。</p> <p style="text-align: center;">- 152 -</p>	<p>(P152)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>第5章 文化財の保存又は活用に関する事項</p> <p>(1) 文化財の保存・活用の現況と今後の方針</p> <p>原始・古代から近・現代に至るまで、歴史・文化・伝統が息づく白河市では、文化財保護法や福島県文化財保護条例を基本とした国・県指定文化財の保存・活用はもちろんのこと、市内にある重要な文化財についても白河市文化財保護条例や文化財保護条例施行規則を制定し、その保存・活用に努めてきた。</p> <p>現在、市内には国指定6件、重要美術品4件、県指定23件、市指定102件の計135件の指定等文化財があり、その内訳は、史跡・名勝24件、天然記念物15件、工芸品29件、古文書2件、書籍5件、建造物8件、絵画8件、彫刻9件、考古資料16件、歴史資料8件、有形民俗文化財4件、無形民俗文化財7件となっている。</p> <p>指定文化財のうち、国指定の史跡・名勝については、保存管理計画を策定し適切な保存・管理に努めることが求められるが、現在のところ保存管理計画が策定されているのは史跡及び名勝南湖公園、史跡小峰城跡の2箇所であることから、今後は他の史跡についても計画的に保存管理計画書の策定を図り、史跡の適切な保存管理に努めていく。</p> <p>その他の指定文化財については、文化財保護法に基づく、保存管理を引き続き行っていく。</p> <p>県・市指定文化財については、それぞれ文化財保護条例に基づく保存管理を行ってきたが、明確な保存管理に向けた指針が示されていないことから、指定文化財すべてを包括した形での指針を策定し、統一的な文化財の保存管理に努めていく。</p> <p>指定外の文化財については、現状調査のもと重要性や緊急性を踏まえ、市指定文化財候補リストに登録し、文化財指定に向けた取り組みを随時行っているが、今後も引き続き行っていく。</p> <p>指定・未指定にかかわらず、無形民俗文化財については、地域に根ざし受け継がれたものであることから、その内容について調査を行い、活動に対する支援事業を立ち上げその保護に努めてきた。しかし、後継者不足により活動休止となる事例も見られることから、引き続き支援事業を行うとともに、今後は映像による活動の記録保存を行っていく。</p> <p>だるま製造や醸造業などの伝統産業については、技術やそれが営まれてきた建造物等を含む総合的な調査を進めるとともに、技術や建造物の保全に努めていく。</p> <p style="text-align: center;">- 152 -</p>



■新旧対照表

新	旧
<p>(P154)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5号-</p> <p>② 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針</p> <p>白河市では、文化財の保存・活用を行うための施設として、白河市歴史民俗資料館、白河集古苑を設置しており、収蔵資料の調査分析、保存及び公開を行っている。</p> <p>白河市歴史民俗資料館では、常設展示として白河の古代から近代までの歴史を、展示パネルと実物の収蔵資料を用いて紹介し、昔の人々が遺したものが歴史につながっていることが分かる内容となっている。また、展示は文化財や白河の歴史に多くの人に触れただけのよう、通常は入館料無料としている。</p> <p>史跡小峰城跡に所在する白河集古苑では、収蔵している結城家・阿部家の数多くの資料を年5~6回入れ替えながら紹介し、小峰城に関わる武家の文化遺産を保存・展示するとともに、白河に関わる特別企画展も年1回程度開催している。これらの施設では、定期的に燻蒸処理を行っているほか、温湿度管理を徹底し、収蔵資料を後世まで良好な状態で引き継げるように努めている。</p> <p>特に、個人所有の文化財にあつては、適切な管理・保存ができない場合は、所有者と十分な協議を図った上で資料の寄託を促している。</p> <p>しかし、その一方で収蔵資料の増加に伴い、資料館収蔵庫のスペース不足が大きな課題となっている。また、埋蔵文化財出土品の収蔵施設が各所に点在しているため、一括管理・保存を図ることが困難な状況となっている。今後は、財政状況を勘案し、施設改修計画や新たな収蔵施設の確保に努めていく。</p> <p>文化財に関する案内・説明板等の設置については、「サイン統一計画」の策定に基づき色調やデザインの統一を図り、未設置箇所を中心に設置していく。</p> <p>③ 文化財の周辺環境の保全に関する方針</p> <p>白河市では景観法、都市計画法及び市の独自条例による規制・制度のほか、白河の都市空間を印象付ける重要な景観特性を守り育てるため、白河市都市景観形成基本計画の策定（平成9年3月）、白河市都市景観条例の制定（平成9年6月）、白河市・西郷村サイン統一計画の策定（平成17年3月）など、良好な都市景観の形成に努めてきた。また、これまでの景観形成の実績を踏まえ、より一層白河市の景観特性を活かした景観形成を推進していくことを目的に、平成21年4月から景観法に基づく景観行政団体となり、平成23年4月から「白河市景観計画」を施行している。</p> <p>今後も、文化財の周辺環境を保全し、文化財と一体となったまちづくりを推進するため、まちづくり推進課・都市計画課・道路河川課・文化財課等の関係各機関が、開発行為や現状変更行為について情報を共有し、連携した対応を図っていく。</p> <p style="text-align: center;">- 154 -</p>	<p>(P154)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5号-</p> <p>② 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針</p> <p>白河市では、文化財の保存・活用を行うための施設として、白河市歴史民俗資料館、白河集古苑を設置しており、収蔵資料の調査分析、保存及び公開を行っている。</p> <p>白河市歴史民俗資料館では、常設展示のほか、収蔵している指定文化財・考古資料・民俗資料・絵画などを中心としたテーマ展及び収蔵品展等を年数回に分け、文化財の持つ価値をより広く公開できるように、入館料無料（特別企画展を除く）で開催している。また、史跡小峰城跡に所在する白河集古苑では、収蔵している結城家・阿部家の史資料を年数回に分けたテーマ展として開催し、小峰城に関わる武家の文化遺産を保存・展示している。これらの施設では、定期的に燻蒸処理を行っているほか、温湿度管理を徹底し、収蔵資料を後世まで良好な状態で引き継げるように努めている。特に、個人所有の文化財にあつては、適切な管理・保存ができない場合は、所有者と十分な協議を図った上で史資料の寄託を促している。</p> <p>しかし、その一方で収蔵資料の増加に伴い、資料館収蔵庫のスペース不足が大きな課題となっている。また、埋蔵文化財出土品の収蔵施設が各所に点在しているため、一括管理・保存を図ることが困難な状況となっている。今後は、財政状況を勘案し、施設改修計画や新たな収蔵施設の確保に努めていく。</p> <p>文化財に関する案内・説明板等の設置については、「サイン統一計画」の策定に基づき色調やデザインの統一を図り、毎年度計画的に設置している。今後も未設置箇所を中心に継続して設置していく。</p> <p>③ 文化財の周辺環境の保全に関する方針</p> <p>白河市では景観法、都市計画法及び市の独自条例による規制・制度のほか、白河の都市空間を印象付ける重要な景観特性を守り育てるため、白河市都市景観形成基本計画の策定（平成9年3月）、白河市都市景観条例の制定（平成9年6月）、白河市・西郷村サイン統一計画の策定（平成17年3月）など、良好な都市景観の形成に努めてきた。また、これまでの景観形成の実績を踏まえ、より一層白河市の景観特性を活かした景観形成を推進していくことを目的に、平成21年4月から景観法に基づく景観行政団体となり、平成23年4月から「白河市景観計画」を施行している。</p> <p>今後も、文化財の周辺環境を保全し、文化財と一体となったまちづくりを推進するため、まちづくり推進課・都市計画課・道路河川課・文化財課等の関係各機関が、開発行為や現状変更行為について情報を共有し、連携した対応を図っていく。</p> <p style="text-align: center;">- 154 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P159)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <hr/> <p>(2) 文化財の保存・活用に関する体制</p> <p>① 文化財の保存・活用の体制（文化財保護審議会の構成を含む）と今後の方針</p> <p>白河市では、文化財の保存・活用に関する業務は、建設部都市政策室文化財課（文化財保護係・史跡整備係）の11人で担当している。事務所を歴史民俗資料館内に置き、収蔵資料内の文化財の保存・活用について、より密接に関わることができる体制となっている。また、白河集古苑の職員を文化財課職員が一部兼務しているため、集古苑所蔵の文化財の保存・管理について、速やかに対応できる体制となっている。</p>  <p style="text-align: center;">文化財保護審議会現地視察</p> <p>史跡及び名勝南湖公園や史跡小峰城跡の管理は、都市公園の範囲とも重複していることから都市計画課が担っていたが、平成25年4月から、観光資源としての活用をさらに推進するため、観光課がその管理を担っている。史跡等の適切な管理が図れるよう、定期的な協議を文化財課と行い、連携した文化財の保存管理にあたっている。</p> <p>また、白河市文化財保護条例により、教育委員会の諮問機関として文化財保護審議会を設置している。委員は、歴史・美術・郷土史・宗教史・工芸・建築史・民俗芸能の専門家7人で構成され、文化財の保存・活用に関する指導・助言を得ている。また、審議会での検討が困難な分野については、検討委員会や専門委員会を立ち上げる等、適切な審議を行ってきた。今後も、文化財保護行政に対して適切な指導・助言を得ながら進めていく。</p> <p style="text-align: center;">- 159 -</p>	<p>(P159)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <hr/> <p>(2) 文化財の保存・活用に関する体制</p> <p>① 文化財の保存・活用の体制（文化財保護審議会の構成を含む）と今後の方針</p> <p>白河市では、文化財の保存・活用に関する業務は、建設部都市政策室文化財課（文化財保護係・史跡整備係）の12人で担当している。事務所を歴史民俗資料館内に置き、収蔵資料内の文化財の保存・活用について、より密接に関わることができる体制となっている。また、白河集古苑の職員を文化財課職員が一部兼務しているため、集古苑所蔵の文化財の保存・管理について、速やかに対応できる体制となっている。</p>  <p style="text-align: center;">文化財保護審議会現地視察</p> <p>史跡及び名勝南湖公園や史跡小峰城跡の管理は、都市公園の範囲とも重複していることから都市計画課が担っていたが、平成25年4月から、観光資源としての活用をさらに推進するため、観光課がその管理を担っている。史跡等の適切な管理が図れるよう、定期的な協議を文化財課と行い、連携した文化財の保存管理にあたっている。</p> <p>また、白河市文化財保護条例により、教育委員会の諮問機関として文化財保護審議会を設置している。委員は、歴史・美術・郷土史・考古・宗教史・工芸・建造物の専門家7人で構成され、文化財の保存・活用に関する指導・助言を得ている。また、審議会での検討が困難な分野については、検討委員会や専門委員会を立ち上げる等、適切な審議を行ってきた。今後も、文化財保護行政に対して適切な指導・助言を得ながら進めていく。</p> <p style="text-align: center;">- 159 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P160)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>② 住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針</p> <p>白河市には、白河観光物産協会で所管している観光ボランティアガイド「ツーリズムガイド白河」があり、史跡や名勝である小峰城跡・南湖公園・白河関跡を中心に活動し、来訪者に“白河の魅力”を伝えている。</p> <p>このほかの文化財の保存・活用に関わっている住民・NPO等各種団体については、文化財ごとに組織された保存・活用団体が主となっている。特に、南湖公園で行われるイベント等については、「南湖を守る会」などの各市民グループや関係機関、NPO法人等が協力・連携して行っている。さらに年1回行われている清掃活動では、多くの市民団体や一般市民が参加し、市民ぐるみの活動を行っている。</p> <p>また、県指定重要無形民俗文化財「奥州白河歌念仏踊」に関して、白河根田安珍歌念仏保存会や大和田長寿会の各団体が、地元の小中学生に民俗芸能を継承するための活動を行っている。今後も、これらの団体等と連携して文化財の保存・活用に努めていく。</p>  <p style="text-align: center;">南湖清掃ボランティア</p> <p style="text-align: center;">- 160 -</p>	<p>(P160)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>② 住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の方針</p> <p>白河市には、白河観光物産協会で所管している観光ボランティアガイド「ツーリズムガイド白河」があり、史跡や名勝である小峰城跡・南湖公園・白河関跡を中心に活動し、来訪者に“白河の魅力”を伝えている。</p> <p>このほかの文化財の保存・活用に関わっている住民・NPO等各種団体については、文化財ごとに組織された保存・活用団体が主となっている。特に、南湖公園で行われるイベント等については、「南湖を守る会」などの各市民グループや関係機関、NPO法人等が協力・連携して行っている。さらに年1回行われている清掃活動では、多くの市民団体や一般市民が参加し、市民ぐるみの活動を行っている。</p> <p>また、県指定重要無形民俗文化財「奥州白河歌念仏踊」に関して、白河根田安珍歌念仏保存会や大和田長寿会の各団体が、地元の小中学生に民俗芸能を継承するための活動を行っている。今後も、これらの団体等と連携して文化財の保存・活用に努めていく。</p>  <p style="text-align: center;">南湖清掃ボランティア</p> <p style="text-align: center;">- 160 -</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P161)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第5章</p> <hr/> <p>(3) 重点区域に関する事項</p> <p>① 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画</p> <p>当該重点区域内には、国指定史跡・名勝・重要文化財3件、重要美術品3件、県指定史跡・重要文化財4件、市指定史跡・天然記念物・重要文化財が10件存在している。これらの文化財は、白河市の歴史的風致の根幹となることから、文化財としての本質的価値を損なうことのないように、保存・管理に努め積極的に活用を図る。史跡小峰城跡については、平成26年3月に策定された保存管理計画に基づき、史跡としての適切な保存・管理に努めるとともに、現状変更を伴う等の場合は、関係機関と十分な検討・協議を行い、史跡の持つ本質的価値を損なうことがないようにする。さらに、国指定史跡としての価値を高めるため、城郭遺構が遺存する範囲については指定地の拡大を図る。</p> <p>史跡及び名勝南湖公園については、これまで同様「史跡及び名勝南湖公園第2次保存管理計画」に基づく保存・管理を行うが、今後整備計画の策定に向けた検討を進める。</p> <p>その他の文化財については、文化財保護法、文化財保護条例等に基づく保存・管理に努め、現状で必ずしも十分とは言えない活用（公開）に向けた条件整備を行う。</p> <p>指定・未指定にかかわらず、無形民俗文化財については、現状での活動内容の把握と映像による記録保存を図り、継続的な活動の推進を図る。また、活動にかかる用具類の新規購入や修繕、活動の公開に対して、実態調査に基づき必要な支援を講じていく。</p> <p>「無形民俗文化財活動記録作成事業」（平成23年度～） 「しらかわ無形民俗芸能等支援事業」（平成21年度～）</p> <p>なお、現在未指定ではあるものの将来的に指定が必要と考えられる文化財については、随時調査を実施し、指定文化財として保存を図っていく。</p> <p>現在、市において早急な対応が求められるのは、歴史的建造物である。これまででは、所有者への聞き取り調査の実施にとどまり、保存に向けた具体的な対応が図られてこなかったこともあり、ここ数年で小峰城下の町屋を形作ってきた歴史的建造物が、維持のための経済的逼迫などを理由に、取り壊される事例が多くなりつつある。こうした現状を踏まえ、今後は特に小峰城下に残された近世から近代までの建造物について、計画的に調査を実施し、指定や登録などの諸施策により、保存に向けた取り組みを推進する。</p> <p>小峰城下において受け継がれてきただるま製造や醸造業などについては、技術やそれが営まれてきた建造物などを包括した総合的な調査を進めるとともに、技術や建造物の保全に努める。</p> <p style="text-align: center;">- 161 -</p>	<p>(P161)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第5章</p> <hr/> <p>(3) 重点区域に関する事項</p> <p>① 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画</p> <p>当該重点区域内には、国指定史跡・名勝・重要文化財3件、重要美術品3件、県指定重要文化財4件、市指定史跡・天然記念物・重要文化財が8件存在している。これらの文化財は、白河市の歴史的風致の根幹となることから、文化財としての本質的価値を損なうことのないように、保存・管理に努め積極的に活用を図る。特に、保存管理計画が策定されていない史跡小峰城跡については、早急に保存管理計画を策定し、史跡としての適切な保存・管理に努めるとともに、現状変更を伴う等の場合は、関係機関と十分な検討・協議を行い、史跡の持つ本質的価値を損なうことがないようにする。さらに、国指定史跡としての価値を高めるため、城郭遺構が遺存する範囲については指定地の拡大を図る。</p> <p>史跡及び名勝南湖公園については、これまで同様「史跡及び名勝南湖公園第2次保存管理計画」に基づく保存・管理を行うが、今後整備計画の策定に向けた検討を進める。</p> <p>その他の文化財については、文化財保護法、文化財保護条例等に基づく保存・管理に努め、現状で必ずしも十分とは言えない活用（公開）に向けた条件整備を行う。</p> <p>指定・未指定にかかわらず、無形民俗文化財については、現状での活動内容の把握と映像による記録保存を図り、継続的な活動の推進を図る。また、活動にかかる衣装や道具等の修復や更新に対しては、実態調査に基づき必要な支援を講じていく。</p> <p>「無形民俗文化財活動記録作成事業」（平成23年度～） 「しらかわ無形民俗芸能等支援事業」（平成21年度～）</p> <p>なお、現在未指定ではあるものの将来的に指定が必要と考えられる文化財については、随時調査を実施し、指定文化財として保存を図っていく。</p> <p>現在、市において早急な対応が求められるのは、歴史的建造物である。これまででは、所有者への聞き取り調査の実施にとどまり、保存に向けた具体的な対応が図られてこなかったこともあり、ここ数年で小峰城下の町屋を形作ってきた歴史的建造物が、維持のための経済的逼迫などを理由に、取り壊される事例が多くなりつつある。こうした現状を踏まえ、今後は特に小峰城下に残された近世から近代までの建造物について、計画的に調査を実施し、指定や登録などの諸施策により、保存に向けた取り組みを推進する。</p> <p>小峰城下において受け継がれてきただるま製造や醸造業などについては、技術やそれが営まれてきた建造物などを包括した総合的な調査を進めるとともに、技術や建造物の保全に努める。</p> <p style="text-align: center;">- 161 -</p>



















■新旧対照表

新	旧
<p>(P164)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>⑤ 文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>文化財の防災については、今後も文化財防火デーに併せた火災防脚訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。特に建造物を中心とした指定文化財を対象に、市関係各課のほか、所有者・消防署・地元消防団・地元町内会等と連携を図りながら、消火器の設置を進め、消火器を使った火災防脚訓練を実施し、火災防脚のレベルアップを図る。これまで、文化財空襲に対する意識付けへの対策は十分とは言えなかったことから、今後は空襲に対する施設内の設備の現状確認を実施し、空襲予防に対する意識付けを強化していく。</p> <p>また、当該重点区域内には歴史的建造物が多く存在することから、基礎的調査により文化財としての価値付けを行う。文化財としての指定・登録がなされた建造物については、修理・整備を行う際に、必要な耐震措置や防火設備の設置を推進する。</p> <p>⑥ 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する具体的な計画</p> <p>当該重点区域内に存在する文化財は、白河市を代表する歴史遺産でもあることから、文化財の有する歴史的価値や白河の成り立ちへの理解、歴史的風致の維持に向けた意識の醸成のため、これまでと同様に市ホームページでの情報発信に努める。</p> <p>文化財保護意識の醸成、地域理解の一助とするため、文化財パンフレットや文化財の解説書の作成を行う。また、小中学校を対象とした文化財出前講座等を積極的に展開し、地域に愛着を持つ意識の啓発に努める。</p> <p>「白河歴史教科書作成事業」(平成24年度～)</p> <p>「白河の歴史・文化再発見事業」(平成25年度～)</p> <p>さらに、重点区域内に存在する文化財をテーマとした歴史講座を開催し、重点区域内の歴史理解を深める。</p> <p>文化財保存・活用を推進するため、景観に配慮し文化財説明看板や案内表示板の設置に努め、文化財保存の意識付けに努める。</p> <p>⑦ 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画</p> <p>当該重点区域内に存在する埋蔵文化財については、他の埋蔵文化財同様極力保存を前提とした対応に努める。また、これまで同様に近世から近現代まで含めた遺跡を対象として対応を図る。</p> <p>区域内での整備にあたっては、事前に試掘調査を実施し、遺構が存在する場合は、遺構の保存に配慮した形での整備に努めることとする。</p> <p>区域は広範囲に及ぶため、区域内の埋蔵文化財の所在の周知をさらに強化し、開発部局との定期的な連絡調整を図り、開発等にあたって可能な限り文化財の保存を図るようにする。また、埋蔵文化財包蔵地カードの充実を図り、埋蔵文化財に対する調査・立会等の履歴を記録し、統一的な対応に努める。</p> <p style="text-align: center;">- 164 -</p>	<p>(P164)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第5章-</p> <p>⑤ 文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>文化財の防災については、今後も文化財防火デーに併せた火災防脚訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。特に建造物を中心とした指定文化財を対象に、市関係各課のほか、所有者・消防署・地元消防団・地元町内会等と連携を図りながら、消火器の設置を進め、消火器を使った火災防脚訓練を実施し、火災防脚のレベルアップを図る。これまで、文化財空襲に対する意識付けへの対策は十分とは言えなかったことから、今後は空襲に対する施設内の設備の現状確認を実施し、空襲予防に対する意識付けを強化していく。</p> <p>また、当該重点区域内には歴史的建造物が多く存在することから、基礎的調査により文化財としての価値付けを行う。文化財としての指定・登録がなされた建造物については、修理・整備を行う際に、必要な耐震措置や防火設備の設置を推進する。</p> <p>⑥ 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する具体的な計画</p> <p>当該重点区域内に存在する文化財は、白河市を代表する歴史遺産でもあることから、文化財の有する歴史的価値や白河の成り立ちへの理解、歴史的風致の維持に向けた意識の醸成のため、これまでと同様に市ホームページでの情報発信に努める。</p> <p>文化財保護意識の醸成、地域理解の一助とするため、文化財パンフレットや文化財の解説書の作成を行う。また、小中学校を対象とした文化財出前講座等を積極的に展開し、地域に愛着を持つ意識の啓発に努める。</p> <p>「白河歴史教科書作成事業」(平成24年度～)</p> <p>「白河の歴史 再発見！事業」(平成25年度～)</p> <p>さらに、重点区域内に存在する文化財をテーマとした歴史講座を開催し、重点区域内の歴史理解を深める。</p> <p>文化財保存・活用を推進するため、景観に配慮し文化財説明看板や案内表示板の設置に努め、文化財保存の意識付けに努める。</p> <p>⑦ 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画</p> <p>当該重点区域内に存在する埋蔵文化財については、他の埋蔵文化財同様極力保存を前提とした対応に努める。また、これまで同様に近世から近現代まで含めた遺跡を対象として対応を図る。</p> <p>区域内での整備にあたっては、事前に試掘調査を実施し、遺構が存在する場合は、遺構の保存に配慮した形での整備に努めることとする。</p> <p>区域は広範囲に及ぶため、区域内の埋蔵文化財の所在の周知をさらに強化し、開発部局との定期的な連絡調整を図り、開発等にあたって可能な限り文化財の保存を図るようにする。また、埋蔵文化財包蔵地カードの充実を図り、埋蔵文化財に対する調査・立会等の履歴を記録し、統一的な対応に努める。</p> <p style="text-align: center;">- 164 -</p>






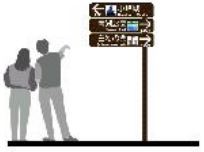

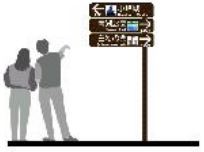



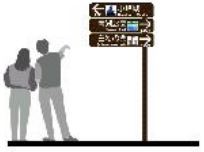
■新旧対照表

新	旧
<p>(P167)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 第6号</p> <p>事業箇所図</p> <p>1 小幡城跡本丸・二の丸石垣修復事業 2 小幡城道場門遺構整備事業 3 無電柱化事業（主要地方道白河停車場線） 4 無電柱化事業（都市計画道路白河駅白坂線） 5 無電柱化調査事業 6 無電柱化調査事業 7 無電柱化調査事業 8 無電柱化調査事業 9 無電柱化調査事業 10 無電柱化調査事業 11 舟楫長重閣周辺整備事業 12 小幡城公園整備事業 13 舟楫長重閣周辺整備事業 14 乙姫様アロムナムード整備事業 15 舟楫長重閣周辺整備事業 16 舟楫長重閣周辺整備事業 17 舟楫長重閣周辺整備事業 18 舟楫長重閣周辺整備事業 19 舟楫長重閣周辺整備事業 20 舟楫長重閣周辺整備事業 21 舟楫長重閣周辺整備事業</p> <p>重点区域に関する事業 3 歴史的まちづくり整備事業 4 歴史的風致形成建造物保存修理事業 10 しらかわ橋史跡調査事業 20 ぐるり白河文化通商めぐり事業</p> <p>市内全域に関する事業 9 屋外広告物規制影響調査等事業 16 無形民俗文化財活動記録作成事業 17 しらかわ無形民俗文化財等支援事業 18 伝統的技術伝承事業 19 白河歴史教科書作成事業 21 白河の歴史・文化発見事業</p>	<p>(P167)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 第6号</p> <p>事業箇所図</p> <p>1 小幡城跡本丸・二の丸石垣修復事業 2 小幡城道場門遺構整備事業 3 無電柱化事業（主要地方道白河停車場線） 4 無電柱化事業（都市計画道路白河駅白坂線） 5 無電柱化調査事業 6 無電柱化調査事業 7 無電柱化調査事業 8 無電柱化調査事業 9 無電柱化調査事業 10 無電柱化調査事業 11 舟楫長重閣周辺整備事業 12 小幡城公園整備事業 13 舟楫長重閣周辺整備事業 14 乙姫様アロムナムード整備事業 15 舟楫長重閣周辺整備事業 16 舟楫長重閣周辺整備事業 17 舟楫長重閣周辺整備事業 18 舟楫長重閣周辺整備事業 19 舟楫長重閣周辺整備事業 20 舟楫長重閣周辺整備事業 21 舟楫長重閣周辺整備事業</p> <p>重点区域に関する事業 3 歴史的まちづくり整備事業 4 歴史的風致形成建造物保存修理事業 10 しらかわ橋史跡調査事業 20 ぐるり白河文化通商めぐり事業</p> <p>市内全域に関する事業 9 屋外広告物規制影響調査等事業 16 無形民俗文化財活動記録作成事業 17 しらかわ無形民俗文化財等支援事業 18 伝統的技術伝承事業 19 白河歴史教科書作成事業 21 白河の歴史・文化発見事業</p>

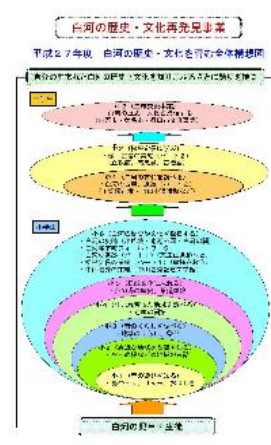
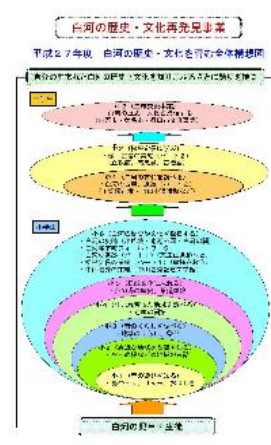
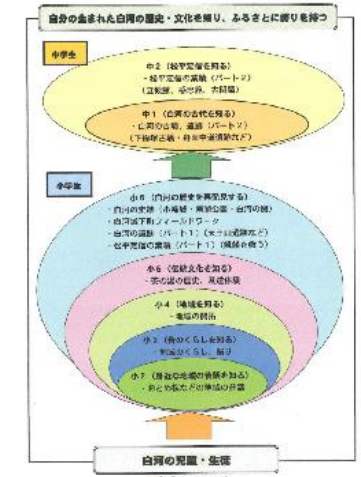
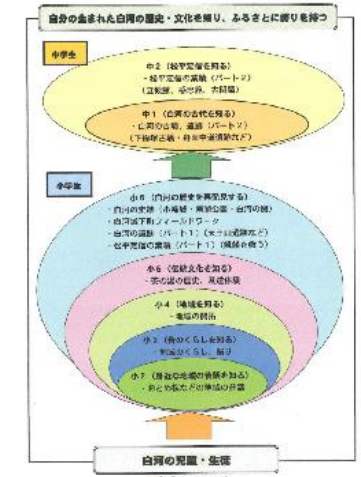
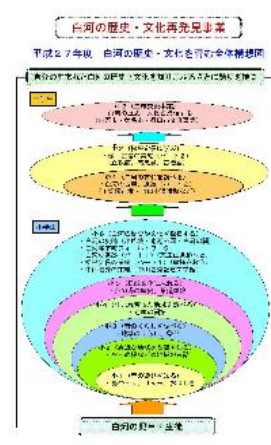
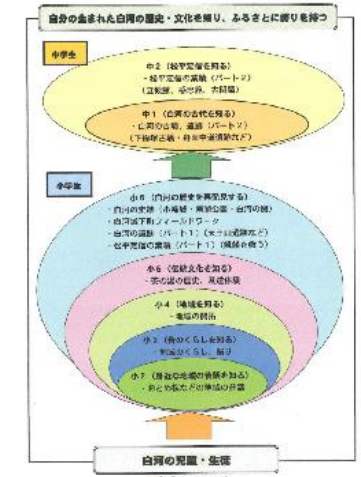
■新旧対照表

新	旧																																
(P168)	(P168)																																
白河市歴史的風致維持向上計画 -第6章-	白河市歴史的風致維持向上計画 -第6章-																																
(2) 歴史的風致の維持向上に資する事業	(2) 歴史的風致の維持向上に資する事業																																
<p>① 史跡等整備</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）、小峰城跡整備基本計画（平成26年度策定）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成23年度～</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に資する理由</td> <td>史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。</td> </tr> </table>	事業名	1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）	整備主体	白河市	事業手法	国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）、小峰城跡整備基本計画（平成26年度策定）	事業期間	平成23年度～	事業位置		事業概要	<p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に資する理由	史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。	<p>① 史跡等整備</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成23年度～</td> </tr> <tr> <td>事業位置</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に資する理由</td> <td>史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。</td> </tr> </table>	事業名	1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）	整備主体	白河市	事業手法	国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）	事業期間	平成23年度～	事業位置		事業概要	<p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に資する理由	史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。
事業名	1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）																																
整備主体	白河市																																
事業手法	国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）																																
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）、小峰城跡整備基本計画（平成26年度策定）																																
事業期間	平成23年度～																																
事業位置																																	
事業概要	<p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div>																																
事業が歴史的風致の維持向上に資する理由	史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。																																
事業名	1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業（小峰城跡災害復旧事業）																																
整備主体	白河市																																
事業手法	国宝重要文化財等保存整備事業（文化庁補助事業）																																
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）、小峰城跡保存管理計画（平成25年度策定）																																
事業期間	平成23年度～																																
事業位置																																	
事業概要	<p>平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。</p> <p>平成25年度以降については、検証結果をもとに、崩落箇所を含め修復が必要と判断された石垣について、計画的に修復を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>震災により崩落した石垣 （本丸南面）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小峰城跡</p>  </div> </div>																																
事業が歴史的風致の維持向上に資する理由	史跡小峰城跡・三重櫓は、まちなかの至る所から見ることができ、白河市のシンボリック的存在となっている。史跡小峰城跡の石垣を修復することは、歴史的風致の維持・向上に資する。																																
- 168 -	- 168 -																																



■新旧対照表

新	旧																												
<p>(P177)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -第6章-</p> <p>③ まちなか回遊性向上</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>10 しらかわ歴史回廊事業</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度）、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業（平成27年度）</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成24年度～</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p>  </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td>歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業名	10 しらかわ歴史回廊事業	整備主体	白河市	事業手法	市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度）、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業（平成27年度）	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）	事業期間	平成24年度～	事業概要	<p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p> 	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。	<p>(P177)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史の風致維持向上計画 -第6章-</p> <p>③ まちなか回遊性向上</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>10 しらかわ歴史回廊事業</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度～）</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成24年度～</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p>  </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td>歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業名	10 しらかわ歴史回廊事業	整備主体	白河市	事業手法	市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度～）	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）	事業期間	平成24年度～	事業概要	<p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p> 	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。
事業名	10 しらかわ歴史回廊事業																												
整備主体	白河市																												
事業手法	市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度）、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業（平成27年度）																												
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）																												
事業期間	平成24年度～																												
事業概要	<p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p> 																												
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。																												
事業名	10 しらかわ歴史回廊事業																												
整備主体	白河市																												
事業手法	市単独事業（平成24年度～）、社会資本整備総合交付金事業（街なみ環境整備事業）（平成26年度～）																												
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）、白河市都市計画マスタープラン（平成21年度～）																												
事業期間	平成24年度～																												
事業概要	<p><マップ作成・イベント等による回遊性向上> まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。</p>  <p><誘導サイン等整備による回遊性向上> 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。</p> 																												
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物が所在する町並みや文化財を繋ぐ回遊性の向上は、白河市民及び来街者が、白河の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出し、歴史的風致の維持・向上に寄与する。																												

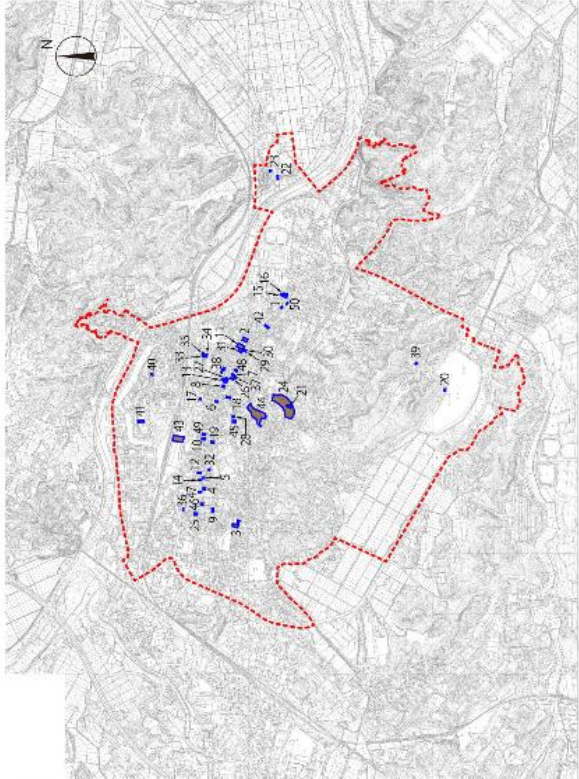
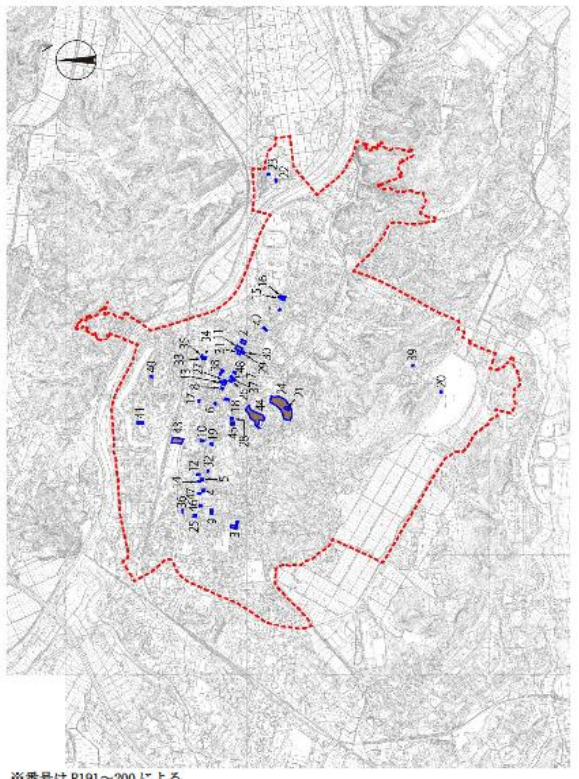
■新旧対照表

新	旧																				
(P188)	(P188)																				
<p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第6章-</p>	<p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 -第6章-</p>																				
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>21 白河の歴史・文化再発見事業</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>市単独事業</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成25年度～</td> </tr> </table>	事業名	21 白河の歴史・文化再発見事業	整備主体	白河市	事業手法	市単独事業	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）	事業期間	平成25年度～	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>21 白河の歴史 再発見！事業</td> </tr> <tr> <td>整備主体</td> <td>白河市</td> </tr> <tr> <td>事業手法</td> <td>市単独事業</td> </tr> <tr> <td>関連計画</td> <td>白河市第2次総合計画（平成25年度～）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成25年度～</td> </tr> </table>	事業名	21 白河の歴史 再発見！事業	整備主体	白河市	事業手法	市単独事業	関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）	事業期間	平成25年度～
事業名	21 白河の歴史・文化再発見事業																				
整備主体	白河市																				
事業手法	市単独事業																				
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）																				
事業期間	平成25年度～																				
事業名	21 白河の歴史 再発見！事業																				
整備主体	白河市																				
事業手法	市単独事業																				
関連計画	白河市第2次総合計画（平成25年度～）																				
事業期間	平成25年度～																				
<table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p> <p>平成27年度からは、小学校1年生から中学校3年生まで対象を拡大して実施する。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table>	事業概要	<p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p> <p>平成27年度からは、小学校1年生から中学校3年生まで対象を拡大して実施する。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table>	事業概要	<p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>												
事業概要	<p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p> <p>平成27年度からは、小学校1年生から中学校3年生まで対象を拡大して実施する。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p>																				
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>																				
事業概要	<p>白河の歴史についての知識と見聞を広め、白河の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまち・しらかわを愛する心を育てるため、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行うこととする。</p>  <p style="text-align: center;">事業イメージ</p>																				
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>小中学生が、白河の歴史や伝統文化等を正しく学ぶことは、ふるさとに誇りを持つ契機となり、歴史資源の保全や伝統文化等の継承に対する意識の向上につながるため、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>																				
- 188 -	- 188 -																				

■新旧対照表

新					旧				
(P200)					(P200)				
白河市歴史的風致維持向上計画 -第7章-					白河市歴史的風致維持向上計画 -第7章-				
番号	名称	外観写真	所在地	備考	番号	名称	外観写真	所在地	備考
46	大木家住宅		天神町	住宅・蔵	46	大木家住宅		天神町	住宅・蔵
47	今井家別棟		天神町	蔵	47	今井家別棟		天神町	蔵
48	ヤマボシ醤油店		年賀町	蔵	48	ヤマボシ醤油店		年賀町	蔵
49	旧商工会議所建造物		中町	店舗					
50	山崎家住宅建造物		旭町	住宅					
- 200 -					- 200 -				

■新旧対照表

新	旧
<p>(P201)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第7章</p> <p style="text-align: center;">歴史的風致形成建造物及び指定候補の分布図</p>  <p>※番号はP191～200による</p> <p style="text-align: center;">- 201 -</p>	<p>(P201)</p> <p style="text-align: center;">白河市歴史的風致維持向上計画 第7章</p> <p style="text-align: center;">歴史的風致形成建造物及び指定候補の分布図</p>  <p>※番号はP191～200による</p> <p style="text-align: center;">- 201 -</p>

■新旧対照表

新		旧							
(P204)	(P204)								
白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -		白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -							
資料		資料							
白河市の指定文化財一覧		白河市の指定文化財一覧							
◎国指定文化財(6件)		◎国指定文化財(6件)							
No	種別	名 称	指定年月日	所在地	No	種別	名 称	指定年月日	所在地
1	史跡及び名勝	青湖公園	大正13年12月9日 昭和29年8月18日(追加指定) 平成21年2月12日(追加指定)	青湖ほか	1	史跡及び名勝	青湖公園	大正13年12月9日 昭和29年8月18日(追加指定) 平成21年2月12日(追加指定)	青湖ほか
2	史跡	白河關跡	昭和41年9月12日	旗塚/森ほか	2	史跡	白河關跡	昭和41年9月12日	旗塚/森ほか
3	史跡	白河舟田・木沼遺跡群(下館塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・木沼舟田・木沼野地久保	3	史跡	白河舟田・木沼遺跡群(下館塚古墳・舟田中遺跡群・谷地久保古墳・野地久保古墳)	平成17年7月14日 平成22年8月5日(追加指定)	舟田中遺・木沼舟田・木沼野地久保
4	史跡	白河官署遺跡群(信濃庵寺跡)	昭和29年7月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	信濃庵跡	4	史跡	白河官署遺跡群(信濃庵寺跡)	昭和29年7月21日 平成22年8月5日(追加指定・名称変更)	信濃庵跡
5	史跡	小幡城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定) 平成26年3月18日(追加指定)	郡内	5	史跡	小幡城跡	平成22年8月5日 平成24年9月19日(追加指定) 平成26年3月18日(追加指定)	郡内
6	重要文化財(古文書)	白河結城家文書 九十通	平成8年4月27日	郡内	6	重要文化財(古文書)	白河結城家文書 九十通	平成8年4月27日	郡内
◎重要美術品(4件)		◎重要美術品(4件)							
No	種別	名 称	指定年月日	所在地	No	種別	名 称	指定年月日	所在地
1	重要美術品(工芸品)	刀 拵箱(名物 横濱買江)	昭和9年12月20日	郡内	1	重要美術品(工芸品)	刀 拵箱(名物 横濱買江)	昭和9年12月20日	郡内
2	重要美術品(工芸品)	鍍金装束	昭和14年2月22日	会津町	2	重要美術品(工芸品)	鍍金装束	昭和14年2月22日	会津町
3	重要美術品(工芸品)	絹織	昭和18年10月1日	年賀町	3	重要美術品(工芸品)	絹織	昭和18年10月1日	年賀町
4	重要美術品(工芸品)	絹織	昭和19年7月6日	旗邊關山	4	重要美術品(工芸品)	絹織	昭和19年7月6日	旗邊關山
◎県指定文化財(23件)		◎県指定文化財(23件)							
No	種別	名 称	指定年月日	所在地	No	種別	名 称	指定年月日	所在地
1	史跡	白川城跡 (附)城跡跡	昭和28年10月1日	藤沢ほか	1	史跡	白川城跡 (附)城跡跡	昭和28年10月1日	藤沢ほか
2	天然記念物	ビヤッコ(自生地)	昭和30年12月27日	青柳金山 宇上谷地・旗門原	2	天然記念物	ビヤッコ(自生地)	昭和30年12月27日	青柳金山 宇上谷地・旗門原
3	天然記念物	町屋の二本カヤ	昭和44年 4月11日	大塚町屋字蓮日木	3	天然記念物	町屋の二本カヤ	昭和44年 4月11日	大塚町屋字蓮日木
4	重要文化財(建造物)	小幡寺獅子	昭和54年3月23日	蓮橋町	4	重要文化財(建造物)	小幡寺獅子	昭和54年3月23日	蓮橋町
5	重要文化財(建造物)	白河ハリストス正教会聖堂	平成5年3月23日	会津町	5	重要文化財(建造物)	白河ハリストス正教会聖堂	平成5年3月23日	会津町
6	重要文化財(建造物)	松島亭風月庵	平成9年3月31日	曾生館	6	重要文化財(建造物)	松島亭風月庵	平成9年3月31日	曾生館
7	重要文化財(絵画)	紙本着色源朝和尚行状繪記	昭和45年4月24日	信濃中寺字蓮敷	7	重要文化財(絵画)	紙本着色源朝和尚行状繪記	昭和45年4月24日	信濃中寺字蓮敷
8	重要文化財(絵画)	白河ハリストス正教会のイコン	昭和58年3月25日	会津町	8	重要文化財(絵画)	白河ハリストス正教会のイコン	昭和58年3月25日	会津町
9	重要文化財(彫刻)	木造源朝和尚坐像	昭和43年12月10日	信濃中寺字蓮敷	9	重要文化財(彫刻)	木造源朝和尚坐像	昭和43年12月10日	信濃中寺字蓮敷
10	重要文化財(工芸品)	鉄製鏡	昭和28年10月1日	中田	10	重要文化財(工芸品)	鉄製鏡	昭和28年10月1日	郡内
11	重要文化財(工芸品)	銅製腰刀	昭和28年10月1日	会津朝沢字原	11	重要文化財(工芸品)	銅製腰刀	昭和28年10月1日	会津朝沢字原
12	重要文化財(工芸品)	梅花双鳥八景鏡	昭和28年10月1日	中田	12	重要文化財(工芸品)	梅花双鳥八景鏡	昭和28年10月1日	中田
13	重要文化財(工芸品)	金銅装束 (附)玉置知茶壺・地蔵菩薩像・文殊菩薩像・御正体	昭和43年12月10日	青柳金山字犬神	13	重要文化財(工芸品)	金銅装束 (附)玉置知茶壺・地蔵菩薩像・文殊菩薩像・御正体	昭和43年12月10日	青柳金山字犬神
14	重要文化財(工芸品)	絹織	昭和81年3月31日	中田	14	重要文化財(工芸品)	絹織	昭和81年3月31日	中田
15	重要文化財(工芸品)	熊野神社御正体 六面	平成 7年 3月31日	大塚下小瀬字宮沢	15	重要文化財(工芸品)	熊野神社御正体 六面	平成 7年 3月31日	大塚下小瀬字宮沢
16	重要文化財(考古資料)	人形伴生土器	昭和36年3月22日	中田	16	重要文化財(考古資料)	人形伴生土器	昭和36年3月22日	中田
17	重要文化財(考古資料)	信濃寺跡出土品 (附)埴輪器土器出土品 (附)埴輪器土器出土品	平成7年3月31日	中田	17	重要文化財(考古資料)	信濃寺跡出土品 (附)埴輪器土器出土品 (附)埴輪器土器出土品	平成7年3月31日	中田
18	重要文化財(考古資料)	反輪印花文甕子	平成11年3月30日	中田	18	重要文化財(考古資料)	反輪印花文甕子	平成11年3月30日	中田

■新旧対照表

新

(P205)

白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -

No.	種別	名 称	指定年月日	所 在 地
19	重要文化財 (考古資料)	天王山遺跡出土品	平成17年4月15日	中田
20	重要文化財 (歴史資料)	白河城跡櫓櫓	平成16年3月23日	中田
21	重要有形 民俗文化財	練束着色染菅団 (附) 型用型紙・敷物糸・子孫繋ぎ半引束・染織書誌	昭和36年3月22日	向新蔵
22	重要無形 民俗文化財	鱒田のさんじもじ講	昭和50年5月30日	鱒田
23	重要有形 民俗文化財	奥州白河歌念仏講	平成5年3月23日	天神町

◎市指定文化財(106件)

No.	種別	名 称	指定年月日	所 在 地
1	史跡及び名勝	矢陣の森	昭和60年4月1日	東金子字矢陣山
2	史 跡	立敷櫓跡	昭和36年3月7日	会津町
3	史 跡	白河藩大名家墓所 (内別具墓基・松平基知墓・松平清親墓)	昭和39年3月6日 平成22年6月24日(追加指定・ 名称変更)	円明寺塚か
4	史 跡	浮屠碑	昭和41年2月8日	大森島
5	史 跡	庄司黒し塚(墓塚碑)	昭和55年3月14日	教團中野寺町内
6	史 跡	和泉式部庵跡と化粧の井	昭和55年3月14日	教團中野寺町内
7	史 跡	源古渡跡	昭和55年3月14日	教團警沢字原
8	史 跡	藤屋三十三願堂及び阿弥陀三尊坐像	昭和55年3月14日	教團警沢字大平
9	史 跡	藤山崇徳遺跡	昭和55年3月14日	教團高木字高野基塚か
10	史 跡	天王館跡	昭和55年3月14日	教團河東白田天王下
11	史 跡	獅子谷古渡跡	昭和55年3月14日	教團堀之内町獅子谷
12	史 跡	藤屋三十三願堂	昭和55年2月16日	教團高森字石堤
13	史 跡	(仮)金秀吉次兄墓の墓	平成8年3月29日	白飯成麓
14	史 跡	(仮)一町仏供養塔 (附) 広講典の碑	平成8年3月29日	藤原東山
15	史 跡	石阿弥陀の一基塚	平成21年6月28日	白飯石阿弥陀塚か
16	史 跡	清の明神	平成24年1月26日	白飯明神
17	史 跡	作事稲荷	平成25年4月11日	郡内
18	史 跡	貞徳院墓及び松平定康墓	平成25年4月11日	向新蔵
19	史 跡	天神山 (附) 天神神社	平成26年4月17日	天神町
20	史 跡	鱒川寺鐘跡	平成27年2月17日	鱒田町
21	天然記念物	乙姫様	昭和38年1月18日	会津町
22	天然記念物	天神乳巖苔	昭和46年4月1日	大隈陣戸字山小屋
23	天然記念物	天神モミ	昭和46年4月1日	大隈陣戸字山小屋
24	天然記念物	高野槭	昭和55年3月14日	教團中野寺鎮横内
25	天然記念物	山藤	昭和55年3月14日	教團警沢字原
26	天然記念物	玉露松	昭和55年3月14日	教團社田字玉露
27	天然記念物	カナヤマザサ叢生地	昭和55年3月14日	教團金山字小平山塚か
28	天然記念物	菩提樹	昭和55年3月14日	教團金山字大神
29	天然記念物	栞	昭和55年3月14日	教團金山町竹ノ内
30	天然記念物	栞(月夜見の栞)	昭和55年3月14日	教團三倉字月栞
31	天然記念物	眞徳寺のしだれ桜	昭和60年4月1日	東上野出鳥居反町
32	天然記念物	たらの木	昭和60年4月1日	東深仁井田町千代ノ岡
33	天然記念物	石原のしだれ桜	平成8年4月1日	東下野出鳥居反町

旧

(P205)

白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -

No.	種別	名 称	指定年月日	所 在 地
19	重要文化財 (考古資料)	天王山遺跡出土品	平成17年4月15日	中田
20	重要文化財 (歴史資料)	白河城跡櫓櫓	平成16年3月23日	中田
21	重要有形 民俗文化財	練束着色染菅団 (附) 型用型紙・敷物糸・子孫繋ぎ半引束・染織書誌	昭和36年3月22日	向新蔵
22	重要無形 民俗文化財	鱒田のさんじもじ講	昭和50年5月30日	鱒田
23	重要有形 民俗文化財	奥州白河歌念仏講	平成5年3月23日	天神町

◎市指定文化財(102件)

No.	種別	名 称	指定年月日	所 在 地
1	史跡及び名勝	矢陣の森	昭和60年4月1日	東金子字矢陣山
2	史 跡	立敷櫓跡	昭和36年3月7日	会津町
3	史 跡	白河藩大名家墓所 (内別具墓基・松平基知墓・松平清親墓)	昭和39年3月6日 平成22年6月24日(追加指定・ 名称変更)	円明寺塚か
4	史 跡	浮屠碑	昭和41年2月8日	大森島
5	史 跡	庄司黒し塚(墓塚碑)	昭和55年3月14日	教團中野寺町内
6	史 跡	和泉式部庵跡と化粧の井	昭和55年3月14日	教團中野寺町内
7	史 跡	源古渡跡	昭和55年3月14日	教團警沢字原
8	史 跡	藤屋三十三願堂及び阿弥陀三尊坐像	昭和55年3月14日	教團警沢字大平
9	史 跡	藤山崇徳遺跡	昭和55年3月14日	教團高木字高野基塚か
10	史 跡	天王館跡	昭和55年3月14日	教團河東白田天王下
11	史 跡	獅子谷古渡跡	昭和55年3月14日	教團堀之内町獅子谷
12	史 跡	藤屋三十三願堂	昭和55年2月16日	教團高森字石堤
13	史 跡	(仮)金秀吉次兄墓の墓	平成8年3月29日	白飯成麓
14	史 跡	(仮)一町仏供養塔 (附) 広講典の碑	平成8年3月29日	藤原東山
15	史 跡	石阿弥陀の一基塚	平成21年6月28日	白飯石阿弥陀塚か
16	史 跡	清の明神	平成24年1月26日	白飯明神
17	史 跡	作事稲荷	平成25年4月11日	郡内
18	史 跡	貞徳院墓及び松平定康墓	平成25年4月11日	向新蔵
19	天然記念物	乙姫様	昭和38年1月18日	会津町
20	天然記念物	天神乳巖苔	昭和46年4月1日	大隈陣戸字山小屋
21	天然記念物	天神モミ	昭和46年4月1日	大隈陣戸字山小屋
22	天然記念物	高野槭	昭和55年3月14日	教團中野寺鎮横内
23	天然記念物	山藤	昭和55年3月14日	教團警沢字原
24	天然記念物	玉露松	昭和55年3月14日	教團社田字玉露
25	天然記念物	カナヤマザサ叢生地	昭和55年3月14日	教團金山字小平山塚か
26	天然記念物	菩提樹	昭和55年3月14日	教團金山字大神
27	天然記念物	栞	昭和55年3月14日	教團金山町竹ノ内
28	天然記念物	栞(月夜見の栞)	昭和55年3月14日	教團三倉字月栞
29	天然記念物	眞徳寺のしだれ桜	昭和60年4月1日	東上野出鳥居反町
30	天然記念物	たらの木	昭和60年4月1日	東深仁井田町千代ノ岡

■新旧対照表

新				旧					
(P206)				(P206)					
白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -				白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -					
34	重要文化財 (建造物)	具保亭	昭和27年2月9日	南郷	31	天然記念物	石原のしだれ桜	平成8年4月1日	宮下野出島徳田
35	重要文化財 (建造物)	旧小幡城大櫓櫓	昭和39年3月6日	町内	32	重要文化財 (建造物)	具保亭	昭和27年2月9日	南郷
36	重要文化財 (建造物)	丹羽美屋敷	昭和39年3月6日 平成22年8月24日(名称変更)	丹羽寺	33	重要文化財 (建造物)	旧小幡城大櫓櫓	昭和39年3月6日	町内
37	重要文化財 (建造物)	鈴木家住居	昭和56年2月16日	熊鷹普次字塚下	34	重要文化財 (建造物)	丹羽美屋敷	昭和39年3月6日 平成22年8月24日(名称変更)	丹羽寺
38	重要文化財 (建造物)	日宮神社	昭和50年4月1日	東郷内御南屋敷	35	重要文化財 (建造物)	鈴木家住居	昭和56年2月16日	熊鷹普次字塚下
39	重要文化財 (建造物)	十六番神の宮	昭和38年3月9日	年賀町	36	重要文化財 (建造物)	日宮神社	昭和50年4月1日	東郷内御南屋敷
40	重要文化財 (建造物)	(仮)源政重田舎作 ビード口籠	昭和39年3月6日	年賀町	37	重要文化財 (建造物)	十六番神の宮	昭和38年3月9日	年賀町
41	重要文化財 (建造物)	十六番神の宮	昭和41年2月8日	慶富町	38	重要文化財 (建造物)	(仮)源政重田舎作 ビード口籠	昭和39年3月6日	年賀町
42	重要文化財 (建造物)	両界農草履	昭和51年12月10日	年賀町	39	重要文化財 (建造物)	十六番神の宮	昭和41年2月8日	慶富町
43	重要文化財 (建造物)	大嘗寺仏壇(五種)	昭和56年2月16日	熊鷹普次	40	重要文化財 (建造物)	両界農草履	昭和51年12月10日	年賀町
44	重要文化財 (建造物)	鈴木重吉仏壇(彫刻) 源政重田舎作 舞入田形櫓	平成17年9月2日	中田	41	重要文化財 (建造物)	大嘗寺仏壇(五種)	昭和56年2月16日	熊鷹普次
45	重要文化財 (彫刻)	熊鷹神社の神鏡の彫刻	昭和50年4月1日	宮下野出島徳田	42	重要文化財 (建造物)	鈴木重吉仏壇(彫刻) 源政重田舎作 舞入田形櫓	平成17年9月2日	中田
46	重要文化財 (彫刻)	木造袴本人麻呂像(仮)横阿作	昭和53年2月8日	中田	43	重要文化財 (彫刻)	熊鷹神社の神鏡の彫刻	昭和50年4月1日	宮下野出島徳田
47	重要文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来立像	平成5年3月7日	蓮橋町	44	重要文化財 (彫刻)	木造袴本人麻呂像(仮)横阿作	昭和53年2月8日	中田
48	重要文化財 (彫刻)	木造地藏菩薩立像	平成5年3月7日	蓮橋町	45	重要文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来立像	平成5年3月7日	蓮橋町
49	重要文化財 (彫刻)	絹造十一面観音立像	平成5年3月7日	町内	46	重要文化財 (彫刻)	木造地藏菩薩立像	平成5年3月7日	蓮橋町
50	重要文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来立像	平成15年4月10日	板橋作田	47	重要文化財 (彫刻)	絹造十一面観音立像	平成5年3月7日	町内
51	重要文化財 (彫刻)	木造菩薩形立像	平成19年4月12日	小田川行慶久保	48	重要文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来立像	平成15年4月10日	板橋作田
52	重要文化財 (彫刻)	木造新羅如来坐像	平成19年4月12日	馬町	49	重要文化財 (彫刻)	木造菩薩形立像	平成19年4月12日	小田川行慶久保
53	重要文化財 (彫刻)	木造地藏菩薩立像 一部(彫) 木造十五菩薩 七部	平成26年4月17日	熊鷹小松字北ノ内	50	重要文化財 (彫刻)	木造新羅如来坐像	平成19年4月12日	馬町
54	重要文化財 (彫刻)	木造菩薩形立像 一部	平成27年2月17日	宮下野出島宇坂本	51	重要文化財 (工芸品)	播磨鏡等	昭和39年3月6日	中田
55	重要文化財 (工芸品)	播磨鏡等	昭和39年3月6日	中田	52	重要文化財 (工芸品)	網織	昭和39年3月6日	慶富町
56	重要文化財 (工芸品)	網織	昭和39年3月6日	慶富町	53	重要文化財 (工芸品)	刀剣 薙断 伍 平柄山正業	昭和39年3月6日	二輪町
57	重要文化財 (工芸品)	刀剣 薙断 伍 平柄山正業	昭和39年3月6日	二輪町	54	重要文化財 (工芸品)	白河だるまの原型	昭和41年2月8日	横町
58	重要文化財 (工芸品)	白河だるまの原型	昭和41年2月8日	横町	55	重要文化財 (工芸品)	熊鷹神社神鏡	昭和41年2月8日	大原島
59	重要文化財 (工芸品)	熊鷹神社神鏡	昭和41年2月8日	大原島	56	重要文化財 (工芸品)	河敷坂の十一面観音坐像	昭和50年4月1日	東郷仁井田御共敷坂
60	重要文化財 (工芸品)	河敷坂の十一面観音坐像	昭和50年4月1日	東郷仁井田御共敷坂	57	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 聖武皇帝御願所 成龍山満願寺	平成3年1月24日	天神町
61	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 聖武皇帝御願所 成龍山満願寺	平成3年1月24日	天神町	58	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 八幡宮	平成4年1月27日	倉屋町
62	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 八幡宮	平成4年1月27日	倉屋町	59	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 鬼子母神 附 赤巻袋「鬼子母神」	平成4年1月27日	倉屋町
63	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 鬼子母神 附 赤巻袋「鬼子母神」	平成4年1月27日	倉屋町	60	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 別所	平成4年1月27日	年賀町
64	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 別所	平成4年1月27日	年賀町	61	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 常宣寺	平成4年1月27日	向新郷
65	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 常宣寺	平成4年1月27日	向新郷	62	重要文化財 (工芸品)	絹造十一面観音彫仏	平成5年3月7日	町内
66	重要文化財 (工芸品)	絹造十一面観音彫仏	平成5年3月7日	町内	63	重要文化財 (工芸品)	籠巻 籠 神妙 平柄山平安守正業	平成5年3月7日	蓮橋小路
67	重要文化財 (工芸品)	籠巻 籠 神妙 平柄山平安守正業	平成5年3月7日	蓮橋小路	64	重要文化財 (工芸品)	籠巻 籠 奥州白川伍平柄山正業	平成5年3月7日	昭和町
68	重要文化財 (工芸品)	籠巻 籠 奥州白川伍平柄山正業	平成5年3月7日	昭和町	65	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 萬徳草	平成5年12月3日	慶富町
69	重要文化財 (工芸品)	木造菩薩 萬徳草	平成5年12月3日	慶富町					
70	重要文化財 (工芸品)	籠巻 籠 正業簾作之	平成12年4月14日	養生館					
71	重要文化財 (工芸品)	籠刀 籠 正業簾作之	平成12年4月14日	養生館					

■新旧対照表

新				旧					
(P207)				(P207)					
白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -				白河市歴史の風致維持向上計画 - 資料 -					
72	重要文化財 (工芸品)	鍔振	平成17年10月20日	表蓮中寺字屋敷	66	重要文化財 (工芸品)	鍔振 鍔 正葉鎌作之	平成12年4月14日	菅生館
73	重要文化財 (工芸品)	銅造十一面観音菩薩坐像髹仏	平成24年1月26日	中田	67	重要文化財 (工芸品)	鍔刀 鍔 正葉鎌作之	平成12年4月14日	菅生館
74	重要文化財 (書 跡)	源朝頼大和尚行状之記	昭和55年3月14日	表蓮中寺字屋敷	68	重要文化財 (工芸品)	鍔振	平成17年10月20日	表蓮中寺字屋敷
75	重要文化財 (書 跡)	契軸(千景啓書)	昭和55年3月14日	表蓮金山帯竹ノ内	69	重要文化財 (工芸品)	銅造十一面観音菩薩坐像髹仏	平成24年1月26日	中田
76	重要文化財 (書 跡)	中臣敏(藤原忠次奉納)	平成8年3月29日	中田	70	重要文化財 (書 跡)	源朝頼大和尚行状之記	昭和55年3月14日	表蓮中寺字屋敷
77	重要文化財 (書 跡)	中臣敏(松平定信奉納)	平成8年3月29日	中田	71	重要文化財 (書 跡)	契軸(千景啓書)	昭和55年3月14日	表蓮金山帯竹ノ内
78	重要文化財 (古文書)	六字名号	平成9年10月16日	蓮峰町	72	重要文化財 (書 跡)	中臣敏(藤原忠次奉納)	平成8年3月29日	中田
79	重要文化財 (古文書)	白川義綱狀状(附)中村高基檢校狀 高田堂山繪巻上	平成8年3月7日	中田	73	重要文化財 (書 跡)	中臣敏(松平定信奉納)	平成8年3月29日	中田
80	重要文化財 (古文書)	豊清純文土書	昭和46年4月1日	大塚壇見字北田	74	重要文化財 (書 跡)	六字名号	平成9年10月16日	蓮峰町
81	重要文化財 (古文書)	鎌長の旗牌	昭和82年4月1日	大塚中野町徳入地	75	重要文化財 (古文書)	白川義綱狀状(附)中村高基檢校狀 高田堂山繪巻上	平成8年3月7日	中田
82	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 土師器・滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮善沢字下	76	重要文化財 (古文書)	豊清純文土書	昭和46年4月1日	大塚壇見字北田
83	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 土師器・滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮善沢字下	77	重要文化財 (古文書)	鎌長の旗牌	昭和82年4月1日	大塚中野町徳入地
84	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮高木字上	78	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 土師器・滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮善沢字下
85	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土品	平成7年3月8日	表蓮三倉字月楼	79	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮高木字上
86	重要文化財 (考古資料)	阿弥陀前供養塔	平成8年3月29日	大阿弥陀前	80	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土 土師器・滑石製模造品	平成3年2月28日	表蓮善沢字下
87	重要文化財 (考古資料)	大和田前田供養塔	平成8年3月29日	大和田前田	81	重要文化財 (考古資料)	藤井山帯衾遺跡出土品	平成7年3月8日	表蓮三倉字月楼
88	重要文化財 (考古資料)	礎瓦製大塚(町屋遺跡出土)	平成14年4月1日	中田	82	重要文化財 (考古資料)	阿弥陀前供養塔	平成8年3月29日	大阿弥陀前
89	重要文化財 (考古資料)	町屋遺跡出土縄文土器一拵	平成14年4月1日	中田	83	重要文化財 (考古資料)	大和田前田供養塔	平成8年3月29日	大和田前田
90	重要文化財 (考古資料)	蓮井木遺跡出土土器土器一拵	平成14年4月1日	中田	84	重要文化財 (考古資料)	礎瓦製大塚(町屋遺跡出土)	平成14年4月1日	中田
91	重要文化財 (考古資料)	石冠	平成17年10月20日	中田	85	重要文化財 (考古資料)	町屋遺跡出土縄文土器一拵	平成14年4月1日	中田
92	重要文化財 (歴史資料)	虎原戦場跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	野内	86	重要文化財 (考古資料)	蓮井木遺跡出土土器土器一拵	平成14年4月1日	中田
93	重要文化財 (歴史資料)	丹羽真重居城跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	中田	87	重要文化財 (考古資料)	石冠	平成17年10月20日	中田
94	重要文化財 (歴史資料)	松平定信居城跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	中田	88	重要文化財 (歴史資料)	虎原戦場跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	野内
95	重要文化財 (歴史資料)	黒船の図版木	昭和36年3月7日	本町	89	重要文化財 (歴史資料)	丹羽真重居城跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	中田
96	重要文化財 (歴史資料)	南湖名勝園并静歌	昭和56年7月22日	二番町	90	重要文化財 (歴史資料)	松平定信居城跡における小幡城会図	昭和36年3月7日	中田
97	重要文化財 (歴史資料)	(伝)緋城宗康公軍中旗	昭和63年2月8日	大瀬田	91	重要文化財 (歴史資料)	黒船の図版木	昭和36年3月7日	本町
98	重要文化財 (歴史資料)	奥州白河城下会図	平成元年8月10日	中田	92	重要文化財 (歴史資料)	南湖名勝園并静歌	昭和56年7月22日	二番町
99	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料	平成17年10月20日	表蓮社田字前山	93	重要文化財 (歴史資料)	(伝)緋城宗康公軍中旗	昭和63年2月8日	大瀬田
100	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料 (表蓮高木神社社務)	平成17年10月20日	表蓮社田字前山	94	重要文化財 (歴史資料)	奥州白河城下会図	平成元年8月10日	中田
101	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料 (表蓮高木神社社務)	平成17年10月20日	表蓮社田字白旗	95	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料	平成17年10月20日	表蓮社田字前山
102	重要有形 民俗文化財	表蓮神社神楽	昭和39年3月6日	大塚島	96	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料 (表蓮高木神社社務)	平成17年10月20日	表蓮社田字前山
103	重要有形 民俗文化財	中ノ沢権禰 梵天祭	昭和57年12月22日	表蓮桑森	97	重要有形 民俗文化財	御善神社の高倉儀何資料 (表蓮高木神社社務)	平成17年10月20日	表蓮社田字白旗
104	重要有形 民俗文化財	河東田 牛禰天王祭	昭和57年12月22日	表蓮河東田	98	重要有形 民俗文化財	表蓮神社神楽	昭和39年3月6日	大塚島
105	重要有形 民俗文化財	八幡宮下 勸野講	昭和57年12月22日	表蓮八幡	99	重要有形 民俗文化財	中ノ沢権禰 梵天祭	昭和57年12月22日	表蓮桑森
106	重要有形 民俗文化財	堀之内 社念仏	昭和57年12月22日	表蓮堀之内	100	重要有形 民俗文化財	河東田 牛禰天王祭	昭和57年12月22日	表蓮河東田
					101	重要有形 民俗文化財	八幡宮下 勸野講	昭和57年12月22日	表蓮八幡
					102	重要有形 民俗文化財	堀之内 社念仏	昭和57年12月22日	表蓮堀之内